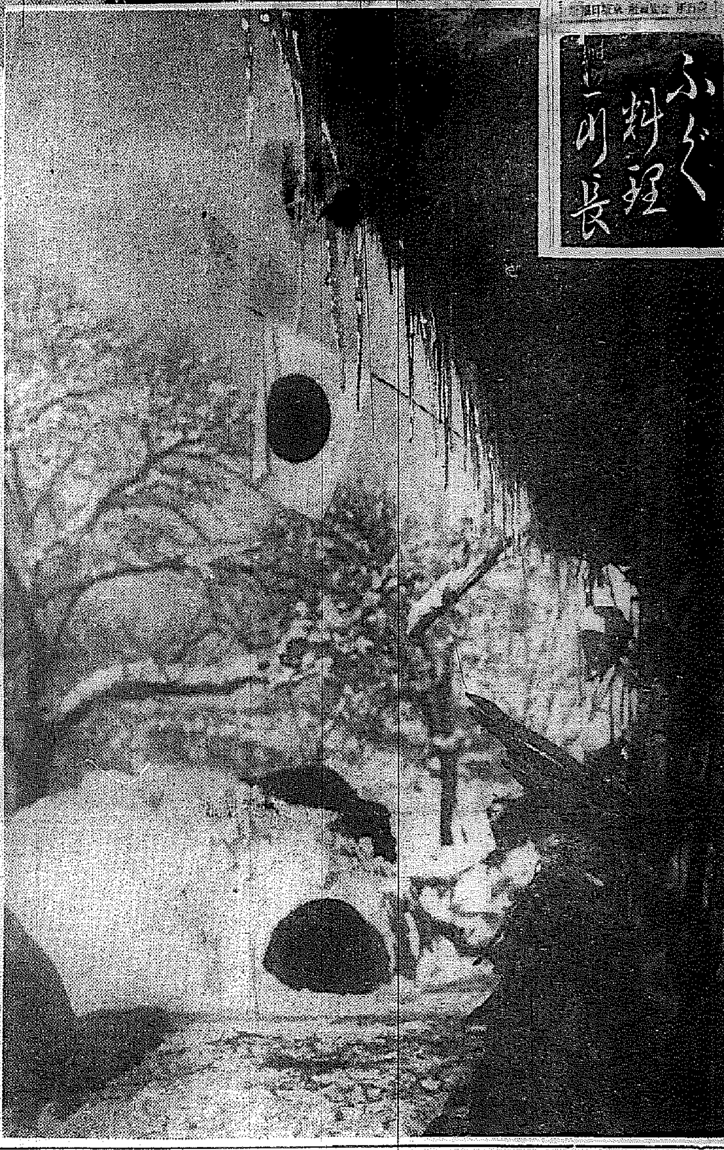
京城日報
本日朝刊十二頁
朝刊

寄贈 12.1.6 帝國圖書館

ふぐ料理 川長



嬉しい初春の壽ぎ

◇――初春は先づ初詣でにはじまる、京城では朝鮮神宮から京城神社にかけて三日間大賑ひであつた、上右の寫眞は南山天滿宮附近、當り年の牛像もうれしさうです
◇……丑と太宰府、天滿宮と牛とはつきものだが、どうして牛が天滿宮と緣があるのか菅原道眞公が太宰府に流されて、謫居中遂になくなつた、道眞公はかねてから一匹の牛を大變に可愛がつてゐたが公がなくなつた日にその牛も公の後を追つて死んだ
◇……それから天滿宮には必ず境内のどこかに公のお伴ひとして銅や石で牛の像を置くことになつた（左中）は現代の新春を壽ぎ奉る國旗の輝き（下右）は[illegible]田家の雪にちなんで雪の外金剛の正月（上左）は年賀狀を力一ぱい背負つて京城郵便局を出動する郵便配達の一隊、かくて樂しい家庭のお宅へ春の最初の訪れを屆けた譯です（下左）うれしいお正月はお孃ちやんに一番豐かに惠みます、晴れ着の袂の重いのもうれしく、大きな帶も美しく追ひ羽根にコッポリの音が旨く響きます（南山町所見）

御守殿お楊 (148)

邦枝完二 作
神保朋世 畫

怪盜（五）

澤盆はぢつと女の白い足を見詰めてゐたが、それもたゞの一瞬、すぐに喉へからまるやうな聲で女の耳元へ囁いた。
「もしお女中、御氣分はどうかの。……この召物をお脫きなされ。さうでないと濡れてゐて、なか〳〵冷えが癒りませぬぞ。わしが脫がして進ぜませう。」
早くも澤盆の手は、女の帶の結び目にかゝつてゐた。
「あれ、それには……」
始めて心から云つた女の聲は、意外にも鈴をふるやうに澄んでゐた。
「ほほう――しかし、遠慮なら無用になさるがよい。こゝに見てをるのは、わしと鼠ぐらゐなもの。爺イは向ふの部屋で藥を拵へてゐますからの。さゝ恥しがらんと襦袢一枚になんなさい。ちと男臭うはござるが、わしの布子を貸して進ぜませうから、襦袢の上に重ねてゐなさるがいゝ。」
「はい。でもお蔭樣で、もうよほど落着きましてございます。」
さう云ひながら女が半身を起しかけたのを見ると、澤盆は帶にかけた手をそのまゝにして、女の腰を抱きすくめるやうにあわてゝ制した。
「これさ、無理は病の因ぢやによつて、そのまゝ。――萬事わたしに委せておきなされ。」
「でも、それではあまりに不躾で……」
が、女はもはや拒ふ素振は見せなかつた。
「いや〳〵、その遠慮は無用なこと。人を助けるのは彌陀如來の慈悲でござるでの。」
「はッくしよい。」
突然、襖の彼方から、びつくりするやうな大きな嚔が飛んで來た。はつとした澤盆は思はず女の腰から手を引きながらも、忌々しげに破れ襖を睨んで舌打をした。
「誰だ。」
「へえ、敎兵衛でござえます。」
「何しに來をつた。」
「和尚さまのお言ひつけの、藥湯を持つて來ました。」
「うむ、藥湯か。――では這入れ。」
おのが命じた物だけに、今更不用だ、とは云へなかつたのであらう。澤盆は自ら襖を開けて敎兵衛を招き入れた。
「早くこゝへ持て。」
「へえ。」
「なんだ、誰が斯樣に熱くして來いと申した。」
「でもいつも和尚さんは、藥湯のぬるいのとお布施の少いのとは、一番氣色が惡いと仰しやいましたんで。……」
「えゝ阿房め、何を云ひくさる。」
澤盆はあわてゝ打消しながら、女に藥湯を奬めた。
「お女中、これをおあがりなされ。」
「はい、有難う存じます。」
「ちと熱いやうだが、やはり熱いやうでないと効能がないでの。」
「はい。」
「これ敎兵衛。」
「へえ。」
「もうよいから、お前はあつちへ下つてゐた。」
「もう一杯沸かして來べいと思つてますだが。……」
「何を云ふのだ。行け〳〵。」
「へえ。」
敎兵衛が再び出て行つてしまふと、澤盆はそのまゝ女に近寄つた。
「どうぢやな、藥湯の利き目は。」
「大層結構でございます。」
「ふゝゝ、それは何よりぢや。――しかしお手前は、何んといふ白い肌をしておゐでぢや。澤盆五十年の間に、お手前方程の肌は一度も見たことがござらぬ。」

主婦之友 新年號大附錄 花嫁さん全集を全國の家庭へ推奬!!

是非保存しておきたい全集

菊池寛

「花嫁さん全集」は、僕の家では、誰からも好評で、妻もこの一册は是非保存しておきたいと言つてゐる。それは必ずしも僕の娘が嫁入前の年頃であるためでなく、妻も讀んで、これは役に立つと言ふし、僕も目を通したが、なかなか面白くて、思はず八百頁の全卷を讀了した。殊に閨房の祕密をこゝまで親切に言つて吳れたのは、娘を持つ親として大いに有難いと思ふ。
僕は、この一册が、廣く讀まれることによつて、それだけ結婚の不幸が少くなることを信じて疑はない。未婚の人にも、既婚の人にも、男性にも女性にも、讀めば必ず得る所多い最近の良書として御一讀をお薦めする。

念願に答へた待望の良書

山田わか

私は長い間『女性相談』の解答を受持つて、多くの婦人から色々の惱みを打明けられましたが、その祕密は、新聞雜誌の上では、公開をはゞかることが多いので、何か外に適切な相談書の現はれることを望んでをりました處、『花嫁さん全集』が出來て、私の念願を滿足させてくれたことを心から喜びたいと思ひます。皆さんがこの一册を讀まれたら、恐らく『相談』に持込むやうな問題は起らないと思ひます。この意味から全國の家庭に是非一册をお薦めします。

全國の家庭に必ず一册!!といふ呼聲が捲起つて、日本出版界未曾有の大賣行!!書店は戰場のやうな大騷ぎです!!どうぞこの豪華附錄こそ買損ひのないやう今直ぐお求めくださいませ。

大特價八十錢（送料十七錢）
東京神田 主婦之友社（振替一八〇）

謹賀新年

公州砂防事務所 職員一同

公州邑本町 ⊕運送店 電話二〇七番

公州本町 宮本善吉

公州消防組
組頭 岩崎角三郎
副組頭 藤澤榮
同 梁千孫
第一部長 三戸正助
小頭 金孝成
同 板倉精一
第二部長 小川常夫
小頭 白祀鎭
同 末岡喆

公州旭町 公州金融組合

公州錦町 原蠶種製造所

公州穀物商組合

公州邑錦町 高森唯三

仕出 御料理 うどん そば 公州邑旭町 喜久や 電話二四番

公州錦町 辯護士 柳甲秀
同 柳靖鉉
同旭町 洪琬植 電話一二番
同錦町 尹用燮 電話二三番
同旭町 田中忠見 電話三番

論山忠南自動車運輸株式會社 公州營業所 電話一七番

公州邑長 高原圓治郎

朝鮮忠清南道公州邑 大田電氣株式會社 公州營業所

錦城金融組合

元始祭の御儀

新春初の大祭たる元始祭の御儀は三日宮中三殿に於いて天皇陛下御親祭の下にいとも嚴かに行はせられた、此の朝秩父宮同妃、高松宮同妃、三笠宮各殿下に各皇族方を初め參り、廣田首相以下各國務大臣、平沼樞府議長其の他親任待遇以上文武高官、大禮服正裝にて參列、神樂歌の裡に御拜、御饌幣物を供し、三條掌典長祝詞を奏し奉れば午前十時 天皇陛下には黄櫨染御袍の御束帶を召させ賢所大前に御參進、內掌典奉仕の脂燭に導かれ重なる御鈴の儀の裡に恭しく御拜禮、御告文を奏せられ次いで 皇后陛下の御拜、皇太后陛下の御代拜大宮職御用掛の御拜、皇族方御拜、諸員拜禮して御儀を終へさせられた 皇靈殿神殿におかせられても同樣御親祭あらせられた

朝鮮神宮大前で嚴肅に執行

元始祭は三日午前十時から朝鮮神宮大前に於て由緒により嚴肅に執行された、この日南總督、大野政務總監を初め朝鮮貴族總代李埼鎔侯爵、文官總代穗積殖産局長、武官總代[illegible]朝鮮軍參謀長、官民總代湯村京畿道知事、府民總代甘蔗京城府尹その他官民多數が參列した

中央線の主要驛 廿一驛に內定す

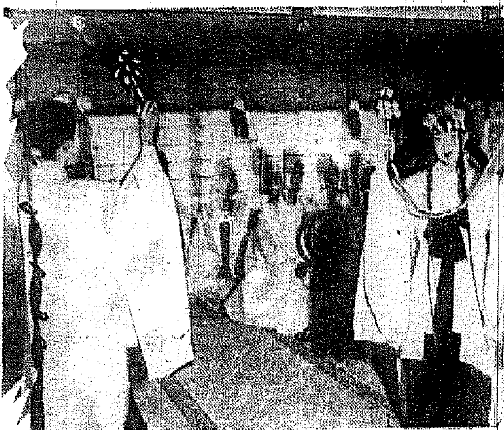
京慶間の未開通、地下資源地帶を縱横に華やかな産業開發譜を奏でてゆく中央線は二千七百八十萬圓の工費を投じ[illegible]難路の兩端[illegible]中間地帶をはじめ卅ヶ所の新工事に着手し、同線[illegible]の第二段階に入ることになつたが、新設される驛は既報の通り約九十の[illegible]驛を置いて四十一驛が設置される筈でこの中主要驛は次の廿一驛に內定した(▲印郡廳所在地驛)

▲丹陽—▲堤川—神林里—▲原州—▲永川—京谷—新寧—義興—▲義城—▲慶北安東—▲榮州—豐基—光信—九屯—砥平—▲楊平—陶谷—南水—德沼—陶農—清凉里

飛躍する朝鮮産金

年産一億圓近し! 本府鑛山課が積極的に指導 景氣よくスタートを切る

躍進朝鮮の最前線を走る朝鮮の金銀鑛は全鮮至る所に埋藏し無限に金鑛業の分布の廣さと鑛脈の多いことは朝鮮鑛業界の王座を占めてゐる、朝鮮の金は數千年の古い歴史を持ち高句麗時代から、千年間支那に朝貢した史實に見てもいかに半島が金鑛床に惠まれてゐたかが判明するであらう、最近に至つて總督府の産金獎勵の旗印に[illegible]スタン・ゴールド・ランド(外人はこう呼んでゐる)は飛躍的に飛躍を續け、本府鑛山課の産金[illegible]の調べによると産金額は數年前まで[illegible]のが昭和十年には[illegible]圓に[illegible] [illegible]本府鑛山課の嚴重な取締の徹底に[illegible]よつて昭和十年に至つて[illegible]事業は[illegible]に飛躍を示してゐる[illegible]に對して、昭和十一年度から[illegible]開鑛の進捗と技術の向上に積極的な指導を與へ、年産一億圓を目指して景氣の好いスタートを切つた



御神樂

新春三日午後一時から朝鮮神宮奉賛殿では年初の[illegible]神樂を[illegible]奉する「[illegible]舞」「五十鈴舞」の御神樂が奏奏され、拜殿の人々を[illegible]つた(寫眞は御神樂)

高松宮殿下 御誕辰の御喜び

【東京電話】高松宮殿下には[illegible]十二回の御誕辰を迎へさせられた、[illegible]御よろこびの御[illegible]さはこの朝九時三十分[illegible]御[illegible]殿下を初め奉り各宮殿下、秩父宮、三笠宮[illegible]石川[illegible]、[illegible]宮家職員など[illegible]殿下は[illegible]御誕辰を御祝ひあそばされた

おかねちかねの 興安丸

玄海も夢のうち 豪華な裝ひを凝らして 愈よ一月一日夜から就航

姉妹船の金剛丸

興安丸は目下長崎三菱造船所で建造を急いでゐるが、近く竣工、來る一月[illegible]日から[illegible]釜連絡船としてデビューし、金剛丸と交互に夜航便として就航することになつた、興安丸は大興安嶺とシベリアとの[illegible]である興安嶺から命名したもので、[illegible]カラーを[illegible]つた海の女王金剛丸に對して、新興[illegible]國の[illegible]に取り入れた世界に誇る海上の大ホテルである

金剛丸と同じく[illegible]七千トン[illegible]船體は[illegible]型の爽快な[illegible]、二本の[illegible]なモダーン[illegible]は輕快な流線型になつてゐる

時速最高

廿三ノットを出して五時間半で玄海を突破するもので、金剛丸同樣科學的裝[illegible]日滿を繫ぐ國際交通路の花形として、[illegible]七千トンの[illegible]代的船舶で[illegible]記錄的船客を收容し、國際旅行客をアッと[illegible]かせてゐる[illegible]一等[illegible]二千七百[illegible]方米の貨物積載能力があり[illegible]

"一觸即發" 忘れちやいやよ・千金の微笑 全一心 【彼の女】

一觸即發…このたかしめやま家から一千三百[illegible] あ見てやつて下さい朝鮮の花柳界で幸運を掴んだ話題の持主としては先づ彼女、朝鮮券番の賣れつ妓金一心の右に出るものはないでせう

スローモーションの北歲だから間違ひのない廿三歲、もう年增妓生だ、一昨年の正月一夜侍んべつた宴席で、ゴールドラッシュに浮かれた京畿南川町の[illegible]山のチップをポンと投げ出され、例の一攫[illegible]の流し目で「忘れちや嫌やよ」と[illegible]頓狂な嬌聲の妓生だ、唄と踊が賣り物の藝[illegible]界に漕ぎ出してゐる妓生

踊は全然駄目だが、學識多才のインテリ妓生を看板に座敷の心臓が強い方で、唄と[illegible]なんだか彼女仲々[illegible]

[illegible]のうまいのが身上、[illegible]追ふ男・男を[illegible]すので若い醫師士、[illegible]完全に[illegible]毛を抜かれ彼女の流鴨な外交振りにダアーとなる彼女の寶兒と言ふのが帝國ホテルでボーイをしながら[illegible]勉勵、アメリカの[illegible]大學を卒へて[illegible]し、エンジニアの博士號を貰つてゐる[illegible]から彼女の頭腦の[illegible]組織も[illegible]で口を[illegible]出るユーモアと皮肉が[illegible]しまふのだ。古い諺に『女賣うして牛を買ふ』とある。[illegible]を賣る可能性が充分にあり、[illegible]賣しこ過ぎて失敗するぞ

……[illegible]、スローモーション[illegible]は何んでもよく熟考しますので、そんなご心配無用よッ」と來た、どうやらことしも一千圓也のチップを狙ふ待機の姿勢——で[illegible]と笑つた、いや、この笑顔は千金のチップを狙ふ微笑みとはもと[illegible]含んでゐるのかも知れない。物凄い例のパトロンを[illegible]んでモダーンな酒場々々でも出してやらう……とのホクソ笑みかも知れぬ。[illegible]城の笑みだなんておだてるのは——

一日歲は笑ふ

半島婦人起上る

『生活改善懇談會』に刺戟されて "醒めよ・內房生活を清算せよ"と 一流の新女性烽火を揚ぐ

朝鮮婦人は醒めよ、內房生活を清算せよ!のスローガンを掲げて、[illegible]在住の朝鮮婦人の手によつて新春早々[illegible]なる婦人生活改善運動が開始された——

これは舊臘

廿七日本府學務局主催の「朝鮮婦人の生活改善」に關する懇談會が導火線となり、當日出[illegible]した教育界、新聞界、宗教界等各方面で男子に劣らず活躍して[illegible]々しく活躍してゐる一流の朝鮮婦人卅五名が發起人となり[illegible]本府學務局長を顧問に[illegible]生活改善を[illegible]、實行に必要な機關を組織、これが[illegible]に關しては近く本府學務局で新女性の活躍に相應はしい名前を贈ることになつた

本府の後援

を得て生活改善戰線の第一線に起ちあがつた前記婦人達は[illegible]今春から[illegible]、婦人[illegible]に關する研究、意見交換の會合を開き、朝鮮婦人の向上指導に當り、さらに男子の生活にも適[illegible]く批判の矢を放つことになつた

英伊協定

【[illegible]二日同盟】英伊地中海協定は、[illegible]日ローマに於て調印され[illegible]たが、[illegible]フランス政府はイギリス政府との[illegible]に關する英伊共同[illegible]の見地に基き近く[illegible]定に[illegible]を表するものと解される

明年度四百萬圓で 永登浦 軍浦場 複線に着手 十五年度には竣工の豫定

明年秋完成する京釜線永登浦、軍浦間十一粁八分の複線工事に次で愈よ明年度から大田、永登浦間百五十八粁・分の複線計畫は本格的の工事に着手し十五年度に完成する[illegible]ことになつたが、先づ四百萬圓で永登浦、軍浦間[illegible]に分つて[illegible]工事をすゝめることに決定、同時に水原驛の大[illegible]、[illegible]工事なども[illegible]調査中である

本府御用始式

けふ午前十一時から擧行

本府の御用始式は四日午前十一時から[illegible]勅任官、[illegible]及び[illegible]秘書官以上及び在城[illegible]第一次所屬官署長參列の上本府第一會議室に於て行合圖のサイレンに[illegible]一齊に式場に入場、先づ南總督は新年[illegible]用始にあたり諸員の[illegible]を[illegible]する訓[illegible]を述べ、[illegible]政務總監は[illegible]官公吏を代表して答辭を[illegible]

半燒

【仁川電話】三日午後二時二十分仁川府[illegible]町[illegible]方新一氏方[illegible]から發火大騷ぎとなり消防隊の[illegible]活動でやうやく半燒程度[illegible]同二時[illegible]分鎮火した[illegible]羽近は[illegible]取調べ[illegible]した、[illegible]燒死の[illegible]死亡し[illegible]たものと見られ損害は約千圓

半島の初春を飾る 觀光團だより 五百餘名花の仁川へ ドルの國から豪華船で來る

【仁川電話】金にあかせて世界を旅する人々が花咲き京、仁川都への訪れ——觀光朝鮮の初春を彩る便りが夢の國アメリカから傳へて來た……

ペルメル

例のお馴染のアメリカン・ハンブルグ・ラインカンパニーの世界的觀光船レライアンス號(一萬八千八百廿一噸)は五百九十名を乗せニューヨークを出帆各地をめぐり、四月十一日か十二日の朝、[illegible]島から仁川港に入港、[illegible]はクインメリー號と同じく[illegible]のクナード・ホワイトスター・ラインの所屬船で、昭和六年仁川港に入港したことがある

京城見物

して同日午後仁川に[illegible]して同日夜仁川を出帆ゴールデン[illegible]の觀光船[illegible]するを仕立て京城見物に向ひ同夜[illegible]にそして[illegible]に向ふ、その後仁川を[illegible]へて十八日これを世界に[illegible]を[illegible]大觀光船フランコニヤ號(二萬[illegible]噸)がアメリカの百萬長者[illegible]百數十名を乘せて入港する

鐵道事故を絶滅 待望の新鋭モーターカー 全鮮に百廿台を配備

吉田局長が就任[illegible]下、全鮮[illegible]にどつとスクラム組んで[illegible]十人の[illegible]は[illegible]する事故の[illegible]出したが、[illegible]として事故の急減[illegible]スピード[illegible]と[illegible]用として全鮮四十ヶ所の保線區に新鋭モーターカーを一ヶ所二[illegible]を新設することになり今春一齊に配置する

新鋭モーターカーは大中小の三種で、小型車は四人乘りの線路巡視用、中型車は六七人乘りで、それつといふと[illegible]復舊材料を積んで出動するもの、大型車は保線員六七人を乘せ復舊材料を[illegible]したトロッコ數台を牽引して現場に急行するもので、工事復舊用の非常車として[illegible]級のものである

しかもどの車も[illegible]早くすぐ走り出せ、移動レールを利用して何處でも線路から取はずし自在といふ重寶なもので、今後は事故の[illegible]と復舊はぐつとスピードアップされるばかりでなく、少々の事故で全鮮のダイヤが[illegible]されることもなくなり、列車のスピードアップにも[illegible]威力を添へるものである

蔣介石氏 鄕里で休養

【南京二日同盟】國民政府より一ヶ月の休暇を與へられた蔣介石氏は二日午前八時飛行機で鄕里浙江省奉化に向つた[illegible]兒童[illegible]省政府委員[illegible]蔣鼎文氏の[illegible]を[illegible]上一月[illegible]は[illegible]後[illegible]する[illegible]

西班牙汽船拿捕を ドイツ國防省發表

【ベルリン二日同盟】ドイツ國防省は二日午前コンミュニケを[illegible]て[illegible]ドイツ汽船[illegible]する[illegible]スペイン[illegible]汽船[illegible]を[illegible]した

賽錢泥

新年早々のお賽錢泥が不[illegible]に逮捕された、元日の午後十一時頃京城神社の賽錢箱から朝鮮飴に紐をつけお賽錢を釣りあげてゐる男を取調べると[illegible]

ウナムノ氏逝く

【サラマンカ[illegible]同盟】スペインの[illegible]ウナムノ氏は[illegible]サラマンカ市に於て[illegible]のため急逝した、享年七十三

ウナムノ氏は一八六四年ビルバオに生れ、一八九一年サラマンカ大學文學部教授となつて[illegible]スペイン文壇に[illegible]た[illegible]ウナムノ氏は獨裁を背んぜずパリに亡命、哲學文學を研究してゐたが一九三〇年初めて獨裁政府との和解成つてサラマンカ大學總長として[illegible]、ウナムノ氏は無政府主義的思想を抱き、著作特に小說は[illegible]を[illegible]して知られる

◇前貴族院議員[illegible]東京市品川區上大崎[illegible]の自宅で三日午前八時死去、享年六十七

けふの天氣 曇、一時晴

王公族

王公族[illegible]家財産ヲ以テ王公家[illegible]ニ依リ[illegible]ニ依リ[illegible]セムトスル者ハ昭和十二年三月十二日迄ニ申出ツヘシ

昭和十二年一月四日 宮內大臣 松平恒雄

一、東京市[illegible]町[illegible]
一、[illegible]
一、朝鮮京畿道京城府[illegible]町[illegible]番地ノ[illegible]
一、[illegible]

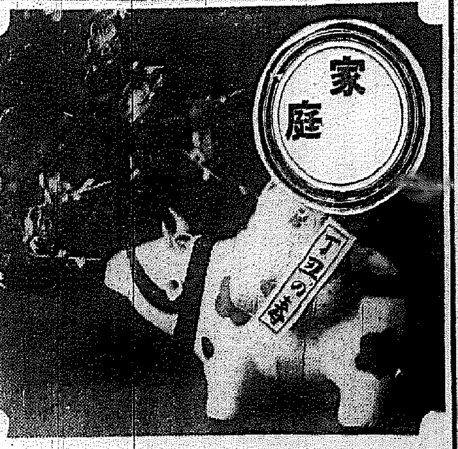
御贈答に最好適 東洋時計

ポリドール流行歌 すみだ川 東海林太郎 獨唱 青空道中 突貫双六 名曲玉手箱 正月新譜はお蔭様で未曾有の賣行、又、東海林太郎のラヂオ放送のポリドール大人氣と言ひ…は依然として躍進を續けてゐます。何卒本年もご愛顧をお願致します。

信用第一 池田の菓 おみやげ第一 オモチハツイタ クリコハツンダ 池田の甘栗

浪花節 ズラリと揃んだ金看板!! 浪曲レコードならテイチク!!
テイチク專屬 吉田奈良丸 義士の勢揃 堀部安兵衛 大阪夏の陣 南部坂
テイチク專屬 春野百合子 藝者の誠 [illegible] おさん茂兵衛
テイチク專屬 京山幸枝 源太時雨 會津の小鐵 不死身の小鐵
テイチク專屬 京山小圓孃 三吉馬子唄 [illegible]
テイチク專屬 冨士月子 壺坂 [illegible] お夏清十郎
テイチク專屬 廣澤虎造 清水一家三下奴 富士川の血煙 鬼吉の度胸 石松閻魔堂の最期
テイチク專屬 木村友衛 小金井小次郎 雷電爲右衛門 河内山玄關先 鹽原多助の別れ
テイチク專屬 天中軒雲月 頑張れ!前畑 西郷南洲の[illegible] 大尉の娘 杉野兵曹長の妻
テイチク專屬 壽々木米若 關の五本松 乃木將軍と辻占賣り 天龍下れば 最後の吉田御殿 新佐渡情話
テイチクレコード 一枚で當る大景品 一等 [illegible] 二等 テイチクポータブル 三等 テイチクレコード
テイチクレコード

提灯で廻る電氣 店頭看板の人氣者! アット驚く…クルク廻る提灯!! 電力消費量は僅少 モーターは責任保證 朝鮮一手特約店募集 專門製作 大須賀工場 東京市淺草區藏前三丁目四番地



騰勢は當分續く
例外・今年は正月も値下りせぬ

◎……京城を中心として物價の動きをみると、昭和十一年は、十年に較べて著しく騰貴してゐる、中でも纖維布類の騰貴が一番目だつてゐる、そしてこの十年から騰勢を續けて來た物價は十一年の九月が頂上であつた

◎……といふのは朝鮮銀行の調査にかゝる卸賣物價指數をみると、明治四十三年七月を基準の一〇〇とし物價の總平均は、十年九月が一七七であつたものが、十一年九月には一九四となつて、最近珍らしい大幅の騰貴を示してをります

◎……これは卸賣物價であるが、これが小賣値段の上に現れて來るのは二、三ケ月後で、最近騰貴したもののうち直接一般家庭のお臺所に響くものは、綿布類が目ぼしいものです、そして一般經濟の物價騰貴はやがて一般經濟を刺戟しお台所にも響いて來ることは明かです

◎……専門家の言ふ所によれば、物價は十二月には例年多少の上昇をみ、明けて一月にはやゝ反落するのが常だといふが今年は例外らしく、この騰勢は當分續くものださうです、かうなると家庭生活者のお臺所はこゝもと大いに用心を要するわけです

物價は上りッ放し
どうしたらやつて行けるか
今ぞ一年の計やりくり特輯版

米も、味噌も、醤物も、家賃も、上つたまゝなかなく下りさうもなく奥樣達の算盤玉は思ふようにははじけない、凡ての物價はあがつても、收入は一向に殖えないどうしたらやつて行けるか？どうしたらこのお台所のピンチが切り抜けられるか、物價とサラリー、この邊の調節について、賢明な奥樣達は一考せねばならない

九圓五十錢まで切り詰められる
友の會の家庭豫算表

京城友の會幹事 佐藤萬喜夫人

このごろの新聞紙上を賑はす諸物價の騰貴はお臺所をあづかる私共にとつて何よりの悩みでありますどこの家庭でも物價の騰貴

殊 に野菜類等の騰貴によつて蒙る影響は大きいこと、思ひます、で、私共この方面に關心を持つ會員一同ひてゐります〃友の會〃では會員卅名が『家計簿は一ヶ月どの位の食費で文化人として生活を營めるか』について約半年の間研究を續けて參りました、そして大體次の様な數字を得ることが出來ましたこれだけあれば充分の生活が出來ると確信を持つてゐます

◇副食物費内譯

肉、魚、玉子	二、〇〇
野菜、豆腐	一、一〇
乾物類（豆、ノリ）	、三〇
菓子、果物	一、三五
計	四、七五

◇米、燃料、調味料費内譯

米（平均）	二、八五
調味料	一、四〇
燃料	五〇
計	四、七五
合計	九、五〇

これは人體に必要な榮養量（カロリー）を充分に考慮してあつて

職 業によつては内容にも多少の變更があり家族の數によつてはこの標準より下ることがありますが文化人としての生活には一ヶ月九圓五十錢で充分なわけであります

この表でみますと菓子、果物類の項が他と比較して多い様ですがこれは、肉魚の好きな方とか副食物は少いが菓子を多く召上る方、さういつた方のために用意されたもので、こゝで

調 節を計つて戴きます

調味料と燃料が少い様に見えますが實際にあたつてはこれで充分でした、米は家庭にある婦人數はともかく職業によつてはこれに變動がありますから平均率を出し餘剰は菓子、果物類の部に入れておきました

小まめに働く
借金しても現金買ひ
渥美京城下宿屋業組合長談

物價騰貴で一番に困るもの、商賣に私共の下宿屋業があります、それはいくらお米や魚が上つたり、家賃を上げられたりしても、すぐ下宿人に下宿代をあげて行く譯に行かないからです、しかし今年の一般生活用品の値上りでは、とてもやつて行けないので、九月から

一割 方の公定下宿料値上げを組合で決め實行したわけですが、實際私共の内部をお話しすれば一割でもまだ〱苦境に立つてゐます、それで下宿屋業者はどういふ途を講じて經營を調節してゐるかといふに、各組合員夫々研究努力してゐるのですが

私共 に例をとつて見るならば第一に人件費――といふと大袈裟になるが、まづ今まで二人使つてゐた下男は一人にする、今まで一人使つてゐた女中は氣の毒だがやめさせて家族の者が仕事を分擔する、といふ方法です、これは實際に省[illegible]です

組合員がやつてゐるやうです、それから消耗品の節約出來るだけ

無駄 をはぶくように努力します、こんなことは何處のご家庭でも同じ事ですが、私共のように多人數の生活を賄つてゐるところでは、この少しづつの節約といふ事は仲々馬鹿にならない、それも無茶な緊縮では、返つて間居者に迷惑をかけて損が行くから、どうしても緊縮の合理化といふ事に頭をひねる、例へばお料理の材料では、一つの材料を色々のお料理に使つて見る、形と味が變れば不平をいはずに食べて下さる、といつた具合に、これは確かに調理知識と經濟觀念を働かせねばならないのです

それから同じ材料を買ふにしても、場所と時で値段が違ふ、例へば

お魚 でも朝の中、豐富な品物を選つて買ふ場合は比較的値が高い、上町は下町よりも値が張る、だから私共では賣りに來るのを待たずにこちらから市場へ買ひに出かける、こゝで足代は完全に浮いて來るわけです

それから掛買ひは大損、私はこれは期の利子を掛つて金を借りてもよいから

現金 で買つた方がよいと思つてゐます、ともかく小マメに自分で働いて、そして節約するより方法はないと思ひます一方お客樣に對しては飽くまで家庭的にお世話する、さうした努力によつて私共は一割位の値上りなら難なく埋め合せ出來ます

あつたまる卵酒 上手なつくり方

×かるい鼻風邪を引いたときなどお寢みの前に卵酒を一杯召上つて床に就くと、翌朝はすつかり氣分も直つてしまひます

×卵酒はどろりとして、舌にねとりからまるやうな加減のが美味です、いろいろ拵へ方がありますが一番簡單に出來る方法をお知らせしませう

先づ砂糖を茶呑一杯、卵二個をよく摺鉢ですり合せ、十分にすれましたら、酒四、五合を少しづつ入れながらかきまぜ、充分にどろ〱となめらかになりましたら、鍋に入れ、熱くお燗をしていたゞきます、卵酒は煮立てず、お燗でいたゞくほうが美味です

お薬味 色んな効目 必ず召上れ

生姜 は消化力を助け、汗を拔き、汗を出させますから、風邪の人や胃の弱い方には大變効めがあります。それに食物の腐敗の消毒になるので、お魚の附合せによく用ひられ、お壽司には缺かせぬものです

山葵 これも消化力があり、血管につけると痛みを去ります、淨油や蕎麥のやくみ、刺身のつまも一々意味を持つてゐるのです

紫蘇 は利尿、發汗によく、乾して粉末にしたものを頂くと咽喉の循環をよくします、紫の濃い紫蘇は魚の毒を中和します

大根 も消化を助け中毒を防し、酒の惡酔に効果があります

胡麻醬 これは脂肪分が多く、のぼせの方に効めがあり毎日頂くと頭髮を美しくします

主婦手帖

×――お餅はそのまゝ箱などにしまつて置くと、おきに黴が來ます、これは濕氣があるせいなのですから、暖炉へ行つて生石灰の固まりになつてゐるものを貰つて來て、紙に包んで餅の片隅へ入れ、蓋をきちんとして置くと決して黴ることはありません

×――又餅の方法は水餅にすることですが、只の水に浸して置くと水を度々取換へなければなりませんから、水一リットルに對し、クズ粉一〇〇グラムを攪拌かし十分に冷やしてからその中へ餅を入れ、蓋を密封して置くと何日でも保ち、味もまるでつき立てのやうにおいしく食べられます。又、もし只の水に浸けて置く時は、鹽を少々加へて置くと水を取かへる度數を少くしても、臭氣のつく事がありません。

×――鏡餅は、カチカチに固くなつたものを下げて、大きくなつてそれを割り崩すなどは無駄な骨折です、大きいまゝそつくり水餅にして置いて、軟かくなつてから細切つて食べれば仕事が楽に運びます

かうしておけば餅は黴びない

妙齢の娘をもてる母に語る
今井邦子

實 際的な方面ではお料理和洋裁縫など少し深入りして覺えておく必要のあるものでこれらについて考へると此頃流行しはじめてゐる花嫁學校といふもの、名前からとうも不愉快ですが、何か上品な名前にして一年か二年かで家庭の主婦としての資格を得られる様なよき修養の機關がつくられ、其處で學ぶことの出來るやうな道の講ぜられるのもよい事と思ひます。またこの時期に自分自身についてゐる惡いくせがあるならばそれをつとめて早く直してしまふことです。たとへば左ぎつちよだとか、箸や筆の持方がちがつてゐるとか、むやみに人前でおくびなどを出すくせなどつとめて意識的になほしてゆくのがよろしいので此時期ならばたしかに治すことが出來ます。

さ て、以上の様な修業のほかに特に私が考へ私がおすゝめ申したいことは、知的方面、精神方面の修養として、この時期にこそ何かまとまつた大部のものを讀みとほしておくと、これが閑人の仕事の様で實はのちにどれだけその人の將來によき糧ひとなり、一つの落着きをもたせることになるか分りません

女は結婚して家庭の人となりますと妻として母としての生活は誠にいそがはしく常に心をその方にはりつめてゐないと暫くは少くも

子 供の成長をするまではまとまつてものをよむ時間などはありません『本がよめなくて困る』と嘆く人はまだよろしい方でもはや本をみてもとりあげてよむ心さへおこらぬ人になつてしまふ人さへすくなくありません

私は これを一概に女の人が懶けるからだとのみ受取りません。かくの如くに家庭の用事といふものは間斷なく主婦の心を休息させないほど繁多になつてゐるのであります。もちろんこれからの女の人はさういふ家庭生活にばかりひきずられてゐはしないでせうが、それにしても本をよむ事はなか〱むづかしい

ま して大部の古典ものなど讀むことはさらにさらにむづかしい。その忙しい時間の間に今日の知識を得るだけで一概でなか〱系統的に大部のものをよみ通すといふことは出來かねます。それですからこの時間は女學校を卒業しましてお嫁にゆくまでの間の修養時代にまだ主婦としての大きい責任のない間に其處まで手をのばして自分の内生活をうるほし、他日子供達とも話が通じて母としての信頼や尊敬を失はぬやうに備へておきたいものであります

讀 んでおきたいと思ふものは、まづ日本の古典文學、或は萬葉集、或は源氏物語、枕の草紙の如き平安朝文學の傑れたもの、全部といふわけにはもちろんゆきませんがせめて一つ二つをでも讀みとほしておくこと、また日本でも西洋でも自分の心惹かれる人物の全集ものなど、すべて讀むものに系統をたてゝゐるとまでもそのことについては多少なり自信がもてる様に何か自ら選んでよみとほしてみるのもよいと思ひます、たとへば藤村、たとへば鷗外、またトルストイなり、ニイチエなり

此 處に注意すべきは世のお母様がこの話をきくともしかすると、『家の娘は本が好きで本ばかりよんでゐてこまります』この上本をすすめては何にも家庭の仕事をしてくれません』とおつしやるのでせうか、さてその讀んでゐる本といふとたかが婦人雜誌の小說程度といふやうなお嬢さんが多分おいでになるのは少し心細い次第です。

この一語は、本誌が特に今井女史にお願ひして執筆して戴いたものです、ご承知の通り今井女史は評論家としての令名があります

當代一流 爭霸血戰譜 (27)

（奥野氏二回勝三人目）

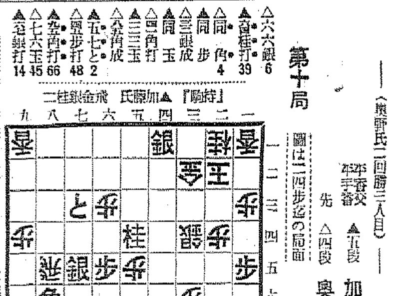
第十局 平香交手番

先 五段 加藤治郎
△四段 奥野基芳

圖は一四歩迄の局面

△六六銀 6
▲六四桂打 39
△同角 4
▲同歩
△三三銀成
▲同玉
△二四角打
▲三三玉
△八五角成
▲五七と 2
△四五歩打 48
▲九五角打 66
△七六玉 45
▲七七銀打 14

『駒持』▲加藤氏 飛金銀桂二



『駒持』△奥野氏 角歩五

持時間各九時間
消費時間 ▲七時間二十五分 △五時間四十三分

席上挿話

〃加藤〃 六四桂打ちのところ八六飛と切り捨て、はどうも寄り筋がありません、以下敵に八五角成と引かれては惡いと思ひましたが、五七と、と自重すれば指せるつもりです

〃奥野〃 四五歩は五七銀と指さうと思ひました、ですが目下のところ受けてゐるやうでは面白くないでせう

講評
八段 金易二郎

〃加藤〃 九五角打ちは、七六銀、或は七九飛打ちを考へて見ました。しかしこの角で寄り筋があると思ひます、また寄り筋がなくとも自玉が安全になるやうに思ひました

加藤君は敵の六六銀の轉手には閉口したらしいと見え攻防手段に苦心長案したものと思はれる

勿論この際飛車を敵に渡すことは自玉に即詰みの關係上不利である、そこで桂を犧牲にして一手の餘裕を得、その間攻勢に轉ずる目的の下に六四桂の巧みな方法を取つた

時に臨み奥野君の同角の切り捨ては決定の行動である、こゝで同歩と賤かな手を選ぶと八四桂と打たれて全然見込みがない

敵は容赦もあらばこそ、五七との寄り

その對策に腐心、同君としては珍らしい長考四五歩と打つて敵玉に必至をかけた、無論敵の肚である

しかし四五歩が成功すればとにかく、然らざる場合は及ばずとも五七銀と自重すべきところである

道が苦心の一戰だけに加藤君の九五角は良策である

咸鏡南道新昌港 新昌旅館 電話一二番

咸南興南邑九龍里 十字屋洋品店 目下信司 電話二二四番

咸鏡線興南驛前 佐々木運送店

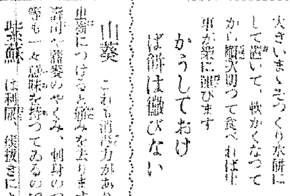
咸南興南邑天機里 今村寫眞館

朝窒會社指定 西尾組工作部 和洋家具 建具 楊林木工所 興南邑荷德里二四

興南邑本町郵便所 所長 高島重郎

咸南興南邑天機里 興南印刷所

足立病院 足立平藏 朝鮮咸南興南天機里 電話四五番


賀正

電氣工事請負 電具一切 興南電明商會 咸南興南邑本町

黑田政之進

朝鮮咸南興南本町一丁目 深崎都睦 本店 料亭都 支店 會社食堂

興南驛長 永山武雄

興南邑會議員 興南學校組合議員 臼井一行 咸南興南邑本町

咸南興南邑本町一丁目 西山喜一 電話一二一番

咸南新興郡 千佛山公立普通學校 職員一同

咸興府有樂町 野尻德治商店 電話四二四番

咸南興南邑天機里一六二番 中尾茂太郎

咸南新昌港 公醫 常春醫院 李亨

道會議員 公醫 柳咸範 電話七番

北鮮製油合資會社 古高常之助 端川邑內

咸南遮湖郵便所長 野中忠良

咸南遮湖公普 黃鎭厚

咸南遮湖公立普通學校長 越原克己

咸山金融組合 武知幸喜

咸興府軍營通二 水口綿店 電話八五三番

咸興府朝日町 佐々木印刷所 佐々木靜登 電話九二六番

咸鏡線新上驛前 雜貨商 池田民助商店

咸興府軍營通 ベコヤ小間物店 電話四〇九番

咸興府大和町 合資會社 野村商店 電話六六〇番

咸興府軍營通一 富士屋玩具店 電話一〇九番

咸興府軍營通一 旭印刷所 電話二一六番

咸興府軍營通一 特撰目貨 十善堂 電話七六七番

咸興府大和町 中尾自轉車商會 電話三一九番

咸南咸興農業實習所 本多慶三 電話六四五番

咸南北靑郡新浦港 雜貨商 鷲見藤三郎

咸北新浦郵便所長 江田源藏

咸興府會議員 九貫政二 咸興府本町二 電話二三七番

咸南定平郡 春柳面職員一同

咸南定平郡長原面 職員一同

咸南道會議員 咸興府會議員 咸興商議特別議員 木村重樹 咸興府明和町一 電話一四六番

咸興驛長 重富明文

同保線區長 西山榮吉

同機關區長 岩城武彥

咸興消防組頭 內田半十 咸興府本町二 電話二一二番

咸興府會議員 田村武治郎 咸興府本町二 電話八三七番

咸南北靑新昌港 文康錫

咸南新昌漁業組合

端川驛 旅館 御料理 ひかりや 端川驛前 電話五二番

咸南端川邑內 西原農場

端川肉商組合

咸南北靑郡新昌 面事務所

咸興本町一丁目 咸興印刷所 電話七二九番

端川驛前 元信濃屋事 信 旅館 下那須野孝子

咸興府大和町 咸鏡細叺株式會社

調料理 淀川 電話七三三番

咸興府軍營通一 山下造花店 三友裝飾店 電話五四一番

咸興府セリ市場 青果鮮魚 委託販賣 咸興市場株式會社 電話六一六番

咸興郵便局 職員一同

咸興刑務所 職員一同

朝鮮漁業 咸南定平漁業 山崎眞 咸南新浦港

朝鮮運送株式會社咸興支店 支店長 中野米吉

咸南北靑郡新浦 新浦月齡會

雜貨商 水産業 佐藤彥七 咸南北靑郡新浦港

咸興內地人旅館組合

合資會社 渡邊商店 朝鮮咸鏡南道咸興驛前

咸興商工會議所議員 咸興府會議員 渡邊利一 咸興府中央町

咸南新浦港製造業水産組合理事 田邊緊 咸南北靑郡新浦港

咸興府大和町 カフエー クロネコ 戸高力 電話六〇四番

三南興業株式會社 熊川健治郎 咸南新上驛前

咸興府大和町四 中央タクシー商會 電話三四二番

朝鮮地質鑛物標本製作所 谷川浩 咸興府朝日町三九

咸興府軍營通一 書籍文房具 スポーツ用品 永島充商店 電話三五八番

咸興府大和町二丁目八五 共信株式會社

咸南咸州郡五老有志

咸興府會議員 佐田實 咸興府中央町二

咸興府大和町一 のぞみや 電話八〇六番

咸南北靑郡新浦港 水産業 布谷國三郎

咸南定平郡新上驛前 李善郁

咸興府軍營通一 風月堂 電話三六六番

西湖漁業組合

咸興大和町一丁目 合資會社 徳本商店 吉本太一郎 電話長一四一番

咸鏡南道漁業組合聯合會 電話長一一三六番 振替京城二四六二一番

咸興水利組合

花に濃淡あり 〔74〕

片岡鐵兵作　一木弴畫

ぬれぎぬ（一）

「待つてたんです」

梅本は、麗子を見ると、ほつとしたやうに聲をかけた。

「おそくなつて濟みません。昨夜、心配してらしつて?」

「眠らせておいて、僕は病室を出たんですが、あなたにお話があるんです」

「ながくお待ちになつて?」

「三十分ほど——その邊を歩きませうか」

二人は銀座の裏から、内幸町の方へ向つて歩き出した。

「麗子さん、あなたを驚かせてはいけないと思つて、お話しようかどうしようかと躊躇したんですが實は、お父さまが大變なのです」

「父が、どうかしましたの?」

麗子はどきつと胸を打たれながら訊いた。

「警察へ——」

梅本は今朝の事件を、なるべく麗子を驚かさないやうに話し始めた。

しかし、父が警察へ引張られたといふだけで、若い女の心を顛倒させるに足りる驚きだつた。

「何、何でもないと思ひます。明日はきつとお宅に返されます。調べて貰へば、何一つ不正なことはないのですから」

「どんな疑ひがかけられたのでせう!」

「恐らく、會社に何か怨恨を含むものゝ投書があつたのでせう。不正な無盡會社に當局が目を光らせてゐる時ですからね。神經過敏になつてるんだから、疑はれたら一時は災難ですよ。でも、帳簿を持つて行つてるから、こちらに不正のないことは直ぐ分ります。そして、この會社に不正はないと、當局で保證して貰へるといふやうな結果になつて、會社は却つて信用を增すと思ひます」

果してさうであらうか、そんなに樂觀して好いのだらうか——麗子には、梅本の云つてゐることが子供だましの慰安めとしか聽えなかつた。

「母は、どうしてるでせう!」

罪がかゝりかけたのではないか、父は警察へ引張られるし、娘は行方不明だし、母の身としては堪らないではないか。

母の愁ひを想へば一刻の猶豫が措けるのだつた。

泣いてゐるだらう母のところへ今すぐにでも歸つてやらねばならぬのだらうか。

「お母さまには、お目に掛りました。案外お元氣でした。しかし、僕は、困りました。丁度、あなたから電話がかかつたあとだつたものですからね、あなたの行方を、お母さまに申し上げる可きか、申し上げない方が好いか、迷ひました」

「そして?」

「兎も角、お母さまを安心させて差し上げるのが、何よりも大切でしたからね、お孃さまは僕の姉がお預りしてゐますから御安心なさい、と申し上げておいたのです」

麗子は、ほつとした。

「あなたが家出なさつたのにも、何かなたに確乎とした考へがあるのかも知れない。あなたの意志も尊重しなければならないので、それで、一時、お母さまにもあなたの居所はかくしておいたのです。でも、ほんとを云ふと、僕としては、今すぐにでも、あなたをお母さまの所におつれしたいのです」

二人は帝國ホテルの前を渡つて、まつ暗な道を、省線のガードに沿つて歩いてゐた。

「どうです。お母さまの所へ歸りませんか」

麗子はさう促されて直ぐ諾かなかつた。ああ、自分の家出に、果して確乎たる根據があるか?

ラヂオ

歌謠物語 その前夜 （後八時五〇分）

トゥルゲーネフ・作　JOAK文藝部脚色　飯田信夫・作曲　江戸川蘭子

「その前夜」は文豪トゥルゲーネフの作品中でも、最も有名なものの一つで、この一篇は、かの農奴解放の前夜に於ける若人達の自由と光明との思想を具象化したものである。一八五三年代のロシアの光景は實に微細にわたつて鳥瞰圖のやうに浮彫されてゐる。が、この歌謠物語では、主として少女エレーナと若き愛國の志士インサロフとの描く高き戀と情熱と、またその悲しい運命とをとり扱つた「その前夜」は作者の六大名作小説の中でも、まづ屈指の作品である。

出演の江戸川蘭子さんは、元松竹SSKを辭し本格的に世に飛躍せんとする新進の人。特にこの意味で蘭子さんにとつてもこの出演は將來への『その前夜』として意義ふかきものがあらう、彼女がたかく自由と光明への思慕は、それはまた違つた意味で、主人公の若きエレーナにふさはしいものがあるであらうからである

柳かくれに君を待つ
そとめ心の悲しさ
永の愁ひに濡れそぼつ
戀の小鳥のそぼ影

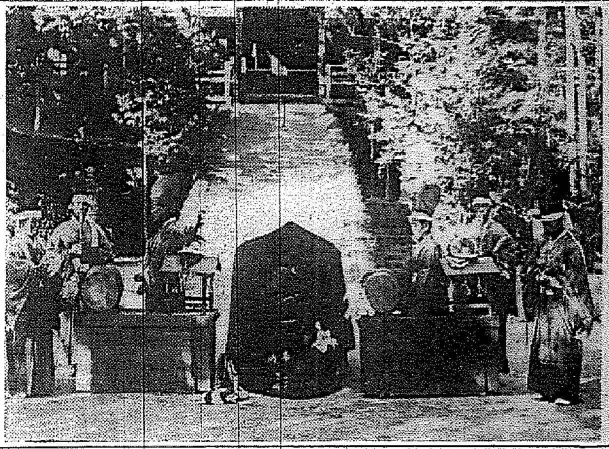
柳かくれに月いでぬ
侍てど甲斐なきひと影
たとへこの世の終りまで
ひとり靜かに待つとふ

スターホフ家に咲く一輪の花、それがエレーナであつた。聰明で熱情的で、世の娘達に似合はず、はつきりと自分を持つてゐる。彼女は素晴らしい娘であつた。二十歳になつた彼女は、自分でも不思議に思ふ。なぜ、今まで自分は人を愛しなかつたのだらう。だが、それは何でもなかつた。なぜなら、彼女にとつて、心をひかれる男性が曾つて存在してゐなかつたから。

彫刻家のシュービン、若い哲學者のベルセネフ、これらも遂に彼女の相手ではなかつた。そこへブルガリヤの若き愛國の志士インサロフが現れる。インサロフ、彼の熱情、彼の勇氣、エレーナの一切ははじめて、この若き英雄の方へ力強くひかれていつた。エレーナには新らしい人生が開けて來た。彼女は遂にインサロフの愛をかち得結婚といふ樂しい成果まで結んだが、それもはかない夢であつた。彼。灯も淋しいヴェニス そこへ、旅立つた新夫婦は、永劫に相逢はれぬ別れに泣いた。インサロフは、そこで旅路にさびしく死んだのである。エレーナはひとりゴンドラでゆく、行衛も知らず流れていく、彼女には家も故郷もない。戀こそは乙女たちの唯一つなる命である。彼女はその母に一切をすててインサロフと共にこゝまで來たのだから。水も暗い。町も暗い。ゴンドリヤの歌が侘びしく水の面に消えていく

いつしかに夕べ來りて、燈火は輝きそめぬ、あゝ誰か知らまし今宵、戀人の柩守りつゝ、わが舟は水をくだると

思ひ出の涙ながれよ、戀の面影は消えぬ、舟びとの歌の調べは過ぎし日の夢をよびかひ、水の面の暗に悲ひぬ



俚謠 （後七時半）

中村治郎兵衛（外）　三重縣阿山郡府中村一宮

この獅子神樂は敢國神社（國幣中社）特殊神事として往古正月三日に行はれてゐたが、慶長年間藩主藤堂公年頭の祝儀として武運長久、領内安全、五穀豐穰を祝賀せしめ、享保年間以後は藩侯公許の上伊賀國を巡奏せしめたが、明治の初年から一時中絶せしめたものを、昭和三年御大禮記念として復興今日に至つたものである

曲目（イ）四方神樂（ロ）正神樂（ハ）五段神樂（ニ）劍舞（ホ）獅子踊（ヘ）荒舞

獅子踊にのみあり

天の岩戸の初神樂これこそ千代の初めなれ

目出度や賑ひの榮をいさむるはどのとさ

沖の白浪は淡路島よりあく島の

しもはしれたなり村矢八幡とうみよす

童話劇　田家雪

田舍のお正月です。わらぶきのお家も野も山も雪に被はれて一面の銀世界。朝早くきれいに積つた雪を踏んで年始の挨拶廻りをするお百姓、子供達の嬉しさうな聲、深山な年賀郵便を配達する郵便配達さん、やがて村長さんのお家へも郵便がどつさり配達されました。校長先生も訪れます。子供達との樂しい會話。素朴な田舍の正月風景、郵便に因んでの放送です

けふのプロ

四日（月）第一放送

午前七時三〇分（東）聖訓謹話 神武天皇皇祖御祭の詔（一） 文學博士 植木直一郎
同八時一〇分 今日の天氣見込（京城・釜山）
同九時一〇分（城）初商合實況 朝鮮取引所より中繼 鐵當アナウンサー
同九時一五分 氣象通報（今日の天氣見込・平壤）
同一〇時（東、大）新春吟詠 俳句（東京）朗讀並解說 小野田琢之 山口青邨（大阪）朗讀並解說 塚本 龍明
正午（東）時報
午後零時五分（東）和洋合奏 富士音樂團 一、幻想曲『夢』齋藤進作曲 指揮 近藤 信一
同零時三〇分（大）國民歌謠 二、長唄『三つの獅子』 獨唱 內田 榮一
伴奏 大阪ラヂオオーケストラ 合唱 大阪放送合唱團
一、獨唱 日の出島 二、讃唱
同三時四〇分（東）氣象通報
同四時 ニュース（氣象通報、證）
希望の乙女
同六時（大）童話劇 田家雪 大阪童話劇協會
同六時一〇分（東）コドモの新聞 關屋五十二
同六時二五分（京）趣味講座 新春寄席話 文學博士 新村 出
同七時 ニュース 天氣見込
同七時三〇分（名）俚謠 獅子神樂 三重縣阿山郡府中村一宮有志 一、四方神樂 二、正神樂 三、五段神樂 四、劍舞 五、獅子踊 六、荒舞
同七時五五分（東）常磐津『釣女』 淨瑠璃 常磐津松尾太夫 同 常磐津三東勢太夫 同 常磐津千東勢太夫 三味線 常磐津文字兵衛 同 常磐津 八百八 上調子 常磐津 師治
同八時二五分（東）ヴァイオリン獨奏 安藤 幸子
同八時五〇分（東）歌謠物語 その前夜 トゥルゲーネフ作 JOAK文藝部脚色 飯田信夫作曲 江戸川蘭子
同九時三〇分（東）時報 ニュース・氣象通報 地方へのニュース 翌日の番組
同一〇時 ニュース（朝鮮語、釜山）

第二放送

午後零時〇五分 マンドリン合奏
同六時 ハーモニカ獨奏 宋 一亢
同六時二五分 新年の展望（二） 韓 相龍
同七時三〇分 新民謠 朴 運 基
同七時 大獨奏
同八時二五分（東）ヴァイオリン獨奏
同八時五〇分 唱劇

あすの聞き物　五日（火）

午前七時三〇分（東）聖訓謹話 十七憲法（一） 加藤 咄堂
同九時三〇分（東）ラヂオ日本見物（一）東京テキスト三四ページ
同一〇時（東京）新春吟詠 漢詩 奈良島知堂

新年子供大會

午後零時五〇分（東）第一部 ―日比谷公會堂より―
同二時三〇分（大）第二部 ―大阪國民會館より―
同六時（名）管絃樂 名古屋交響樂團
同六時二五分（東）趣味講座 芝居の獅子に就て 岡 鬼太郎
同七時三〇分（東）講演 年頭所感 外務大臣 有田 八郎
同七時五五分（東）淸元 新曲 幻お七 淸元喜久太夫・外
同八時二五分（東）落語 初天神 桂 文樂
同八時五〇分（大）ラヂオドラマ 春の別れ 大阪放送合唱團

大阪商船出帆

北鮮 ○內地、鮮滿連絡優秀客船
興　丸　門司、大阪、神戸　羅津、清津、雄基　一月十五日
大洛　丸　一月四日　同　一月十一日　同　一月八日
河南丸　北鮮　清津、雄基、城津、興南　一月廿三日
武昌丸　博多、長崎、鹿兒島、基隆　一月廿五日
臺灣行
大連行　内地直行　日滿連絡每日發
朝鮮・滿洲・臺灣・支那　午前正午　東京・神戸・大阪・門司・下關
扶桑丸　さんとす丸
ぶらじる丸　りおでじやねいろ丸
あるぜんちな丸　ころんびあ丸
はわい丸　まにら丸
たこま丸　しあとる丸
門司基隆直行
蓬萊丸　高千穗丸　瑞穗丸
詳細は左記へ御問合下さい
京城府南大門通三丁目一〇六
東京火災四階
大阪商船株式會社

京城支店 電話本局長一〇〇三番
内代理店・案內書
朝鮮郵船 國際運輸會社
仁川 慶田組
釜山 釜山商船組
ジャパンツーリストビユーロー案內所（京城・平壤三中井・釜山三中井・平壤大和館）

朝鮮郵船出帆

◎北鮮新潟直航（△印ハ船客御斷り）
長白山丸（東亞三、五三八噸）（定員特等四名並等廿一名）
北鮮横濱直行　東京―阪神―關門コース
北鮮東京行
北鮮大阪行
北鮮大阪行
西鮮東京行
△江原丸　△主基丸
○急行船
○陸運連絡御用船
仁川―博多直行　仁川―群山―木浦―釜山―博多―神戸寄港
◎博多直行船　仁川五日　群山六日　木浦七日
西鮮上海行　仁川・青島行　上海行
大連行　青島行
浦鹽行
日本郵船定期出帆
京城府南大門通り五ノ一
朝鮮郵船株式會社
代表電話（2）本局四一九五番
仁川出張所　群山代理店　木浦代理店　元山代理店　城津代理店　清津代理店　雄基代理店
朝鮮運送支店　朝鮮運送會社　群山海運會社　大池回漕部

阿波共同汽船出帆

威海衛、芝罘、大連行
威海衛、芝罘、大連行
鎮南浦、大連、天津行

朝鮮郵船定期出帆

乘客貨物取扱仕候
代理店　仁川港町　野口商會　電話三二四番

沿岸郵船出帆

近海郵船仁川出帆
仁川支店回漕部
朝鮮運送株式會社

謹近火御見舞　仁川府仲町二ノ二　平岡美粧院

謹近火御見舞　仁川府新町　高野周三郎

謹近火御見舞　仁川府仲町三丁目　今中商店

謹近火御見舞　仁川府仲町三ノ四　春武源吉

謹近火御見舞　仁川仲町二ノ二　回生堂藥局

謹近火御見舞　仁川本町四丁目　福島邦一商店

謹近火御見舞　仁川仲町二ノ四　井上仁太郎

謹近火御見舞　仁川仲町三丁目　島本旭城

謹近火御見舞　仁川仲町三　協成商會

謹近火御見舞　仁川仲町三丁目　日下部商店

謹近火御見舞　仁川仲町三丁目　川口病院

謹近火御見舞　仁川本町四丁目　株式會社 平野商店

火災御見舞御禮

弊社儀本日火災の際は早速御馳付御見舞且消防に御盡力被下候段有難く奉深謝候以御陰二階の一部を消失せしに止まり營業上には何等の支障無之候間不幸中の幸に有之候混雜中御尊名御伺洩れ有之哉も難計茲に不取敢乍略儀以紙上御厚禮申述候　敬具

昭和十二年一月三日　仁川府仲町三丁目　南方新一

謹近火御見舞　仁川仲町三丁目　德生祥

謹近火御見舞　仁川仲町三丁目　佐藤現株店

天下一品　賀正　萬

キッコーマン醬油
マンジョウ味淋
キッコーマンソース

潑剌たり矣　新春の味覺

宮內省御用達　野田醬油株式會社　12―A―1

日本一　不二わた　天使綿　天使綿綿

凍傷にアスター

松竹キネマ　明治座
正月四日より五日まで　上映時間表

	第一回	第二回	第三回
京日・朝日ニュース	11,41	3,50	7,00
松竹京都特作 薩摩隼人の唄	10,30	2,39	7,25
松竹大船超大作 オール・スターキャスト わが母の書	12,04	4,13	8,34

入場料金　大人五〇錢　學生三〇錢

團成社
四日封切（五日間）新春第二週特別興行　毎日十時半、一時半、六時廿分三回
ユニヴァーサル超豪華版・ジェームス・ホエール監督・ジェローム・カーン作曲・ミュージカル・エルド傑作ミュージカル・コメディより（獨占）
ショウ・ボート
アイリーン・ダン、アラン・ジョーンズ・チャールス・ウィニンジャ
新興キネマ超大作映畫　山路ふみ子、高野由美、河津清三郎、田中春男
陸の黒潮
東日大毎　國際ニュース

中央館
四日より六日まで三日間公開　附上三十錢　附下二十錢均一
アラブ・バイン・ドグレイス氏主演　ループ・ケイ・オー社超特作日本版
二つの顔
大學の蠻柄紳士
神州曼陀羅峡　後篇
毎日晝夜三回興行　第一回 第二回 第三回

京城劇場
東京大歌舞伎
正月元日より六日間　二日目より晝夜二部制
日本一の早替名人　嵐璃昇、市川莚之助、市川百々太郎、尾上菊左衞門　大一座　御目見得狂言
三日四日二の替り狂言
ヒルの部　1 壽式三番叟　2 御目見得だんまり　3 番町皿屋敷　4 源平布引瀧　5 保名狂亂
夜の部　1 壽式三番叟　2 重の井子別れ　3 蘆屋道滿大内鑑　4 立花左近　5 菊畑

喜樂館　日活
新春第一次　十二月三一日―一月四日五日間
（1）W・E・トーキー　春は牛車に乘つて
（2）W・E・トーキー　"魂"（たまひい）
（3）W・E・トーキー　丹下左膳　日光の巻
（世界最高「アーク・ランプ」「モンブン」）料金五十錢
◎毎朝午前十時開場晝夜連續入替なし
◎次回は一月五日荒木又右衞門からくり鬪

京龍館
三日より四日間新春第二週に放つ巨彈篇!
京都、下加茂超特作　阪東妻三郎主演　伊勢屋小判
大船特作ナンセンス　泣かせてね　小倉繁
大船特作ナンセンス　思ひ出してね
ネオスーパートーキー

ワカクサ
四日より五日間　晝夜三回興行
リライアンス特作　ランドルフ・スコット　ヘンリー・ウイルコクスン
赤陽の斷崖
P・C・L・日活・テイチク合同作　藤山一郎・椿澄枝・井染四郎・星玲子
東京ラプソデイ
東日大毎　ニュース
大人五〇　學生小人三〇　最新式暖房完備

朝日座
新春元旦より七日間上映
夜二回
インテリー漫畫王　淺田家　日佐丸
天下御免笑ひの總攻撃
ヒル　十二時から
コル　六時から
大阪料金特等の外五十錢均一

浪花館
お正月第二週特選番組　四日より七日まで
出ました!お待ちかね　嵐寛壽郎プロ超大作の…
オール・トーキー　鞍馬天狗　宗十郎頭巾
寛プロ京都太秦第一映畫
新興キネマ超特作品・陸の黒潮
大資本問題の手間!
▲晝夜三回興行▼

黄金座
四日封切　四日間
マキノトーキー　決戰荒神山
僕の脱走記
忍術猛獸國探險

劃期的な經濟界の進步

所謂"統制經濟"
文明開化の『自由主義』と相剋

猪俣津南雄

世間では最近日本の經濟界の揺々の新しい波瀾、衝突、抗爭を見てそれは統制經濟と自由主義經濟と言ふ二つの違つた經濟の相剋の姿だと思ふものが少くない。一見すればさうであるやうだがしかしそれは極めて皮相的な見方で、資本主義經濟の性質を知らない事を告白するものである。私は近來の謂ゆる統制經濟の著しい進展の實狀に卽して統制經濟の本質を明かにし、これに對して民衆の執るべき態度及びその將來の見透しについても述べて見たいと思ふ。

封建時代　の經濟はやかましく統制された經濟であつた、それが全く行過り大きな變革を通じて資本主義經濟の時代となつた、この新しい經濟組織では一部の權力者の專制的な統制に反對し個人の自由を一般的に承認され個々人の『企業の自由』『競爭の自由』『利得の自由』が強く主張されるに至つた、この意味の自由主義は勿論非常に大きな進步的役割を果した、それは個人の發達を著しく促進し社會の生產力の未曾有の發展を齎した。近代文明とは要するにこの巨大な生產力の開花した姿である、ところで、資本主義經濟には根本的な矛盾が內在した、この經濟組織では生產といふものが社會的な過程なのに生產物及び特に生產手段の所有の方は社會的でなく個人的であるといふ矛盾、卽ち生產の社會的性質と所有の個人的性質との間の矛盾がある、その結果一社會の內部にありながら個々人相互の利害は絕えずに衝突する更にもう一つの矛盾は一つの社會で生產に關係する人間が利害の全く相反する二つの階級に別れてゐること、卽ち勞働者と資本家、働く階級と儲ける階級との對立である、加ふるに前の時代から持越された農民と地主の對立があり、これらと資本家階級との間の對立、そして最後にはまた生產は世界全體としての過程であるに拘らず生產手段、資本の私的所有を土台とするところの國家と國家との間には必然的に猛烈な對立と衝突が生ずる、で、かやうな諸々の對立は個人と個人との間、階級と階級との間及び國家と國家との間に不斷の闘爭となる、しかもこの闘爭の眼目はといへば剩餘價値、獲得である、資本主義の發展過程は可及的大量の剩餘價値の獲得と爭奪の爲めの闘爭を通じて世界の資本家の益々少數者が世界の富と財產の益々大なる部分を手に入れて行く過程であつた

ところで　かうした闘爭に充ちた自由主義經濟は、統制と相容れないものかと言ふと、決してさうではない、およそ何等かの目的のために闘爭の行はれる處に必ず統制あり、資本主義のそもそもの始まりからすべての工場の內部、企業の內部には嚴しい統制が施されてゐた、この統制こそ個々の資本家が剩餘價値の獲得、利潤の獲得の闘爭に勝つための不可缺のであつた、かやうに資本家は自主的に統制を施したばかりではない、政府もまた資本家階級のために大いに統制を行つた、並み外つれの手段などによる暴利の取締りや、並み外づれの搾取を禁ずる勞働法など色々ある、これらすべての統制こそ、資本主義の制度を維持するため、自由主義經濟を發達させるために不可缺のものだつた、更にまた周知の如く個々の政府は自國の資本主義產業の保護助長のためにあらゆる統制を行つた。これはいふまでもなく一國の資本が他國の資本と競爭して勝つために不可缺のものだつた、一言で言へば、資本主義經濟における統制は、少數の富者層が可及的多くの剩餘價値を獲得し得るための統制であつたのである。われ〳〵民衆は此の點を決して忘るべきではない。今日やかましくいはれてゐる統制も、それと全く本質を一にするものだからである

では、以前は何故に經濟に對する政府の統制や干涉に反對して自由主義が強く主張されたのであるか、それは決して統制そのものに反對したのではない、資本家階級の利益に反するやうな統制に反對したのである、そしてとりわけ封建的支配者層や地主や貴族階級などの利益のために資本家階級を犧牲にするやうな統制に對して反對したのである、經濟的自由主義の主張の裏には、一切の統制を資本家階級の利益のために行へといふ要求のひそんでゐたことを見逃してはならぬ、で、要するに資本主義經濟なるものは個々の部面には統制があり、組織があり、計畫があるが、全體としては無統制で、無組織で、無計畫で、一言にいへばアナアキーを特徵とする。一國の經濟においてもさうである、そしてそれは生產手段の私的所有に基づく組織だからである

資本主義　經濟のこの根本的な性質は資本主義の發展と共に益々深刻に、激しい相貌を呈して來た、工場や企業の內部で人間が機械に從屬せしめられ、勞働力が資本に從屬せしめられ、すべてが最大利潤を生みだすやうに統制され組織化され工場や企業から大量の商品が吐き出されて行けば行くほど全體としての商品市場における衝突、闘爭、無統制は一層激しくなり、經濟恐慌は大規模で深刻になつた、利潤の步合低落した、更に並み外つれの手段によつて暴利を貪ぼることや並み外れの搾取によつて勞働者の反抗を刺戟することなどを取締るといつた各種の統制がよく行はれれば行はれるほど並みの搾取による並みの利潤の取得にはそれだけ好都合となり、大きな資本は益々巨大なものとなることが出來、一國の富、世界の富は愈よ少數の億萬長者の手に集中された、更にまた個々の國家が爭つて自國の產業の保護助長のための統制を行へば行ふほど一國の資本と他國の資本との闘爭と衝突は猛烈なかたちをとり遂にはあの世界大戰といふ人類史上空前の大破壞、大屠殺にまで突進した、卽ち統制の裏には常に驚くべき無統制が見られるばかりでなく、各種の部分的な統制を強化することは全體におけるアナアキーを益々激化せしめたのであつた、今では誰でも知るやうに、大戰後の資本主義經濟は明かに沒落期の樣相を呈してゐるその一つの現れである一九三〇年（昭和五年）の世界恐慌は日本では金解禁の直接の影響と相俟つて經濟のあらゆる部門を震撼させた、そしてこの未曾有の深刻な恐慌からの血路を見出さうとする資本家的な努力こそ最近數年間の甚だしい統制はやりを招致したものである、それには勿論かの組織的計畫的經濟の建前に立つソヴエート聯邦において有名な五ヶ年計畫が驚くべき成功を收めたことも大なる刺戟とはなつた、しかし日本の謂はゆる統制經濟はソ聯の統制經濟とは似ても似つかぬものである、後者は生產手段の社會的所有を土臺とするが故に經濟の全體における計畫化と組織化と統制化とが行はれるが前者は依然として生產手段の私的所有の上に立つ以上、經濟の全體は無統制であり、アナアキーであつて、たゞ私的所有者の頭目たる大ブルジョアの利益のために各種の部分的な統制が强化されるに過ぎない

日本の謂はゆる統制經濟の土台をなすものは大資本家による獨占の組織である、紡績聯合會（カルテル）を筆頭とする各種の獨占體は大資本が巨大資本にまで集積するにつれて發生したが、世界戰爭以後、殊に大正の末期から昭和にかけて急激に生長した、昭和五年の世界恐慌以來は更に產業統制法と稱してこの獨占の組織を强制的に擴大強化させる法律までが出來て日本の經濟は全く資本家獨占の支配の下に置かれるに至つた、今日では多少とも重要な資本家的產業部門は殆どすべて獨占的組織を持つてゐる、かゝる產業を有體に獨占的產業といつては聞えが惡いので統制されたる產業だの統制產業だのといつてゐるのである、カルテルの場合には、同一產業部門に屬する幾つかの大企業相互の間の競爭が制限される、トラストの場合には一つの巨大企業が壓倒的な力を持ち、當該產業の內部に於る他の企業の競爭は殆ど無力化される、それらのことが統制だといつてゐる、ところでこの競爭といふものは如何にも無統制そのものではあつたが、しかしよい製品を廉價にそして安く供給するといふ作用によつておのづから公益に合致する一面もなくはなかつた、然るに今日の統制化なるものは、製品の供給量に制限を加へて市價を釣上げ、少數の巨大資本家が獨占的利益を獲得するのであつて資本主義の自由主義經濟から一般民衆が受けてゐた利益と唯一の利益――よい品物が廉價に安く手に入ること――をすら奪ひ去るのである

これらの　大企業に於る各種の獨占體と更にそれらの上に君臨する財閥――獨占的巨大コンツエルン――とによる統制は、そしてそれを促進せしめる政府の統制は常に一般民衆の消費者としての利益を侵害するのみならず大多數の中小業者や農民の生產者としての利益をも脅威する、近年は統制々々といつて各種の中小業者や農民にも頻りに組合をつくらせてゐるが、彼等の組合の背後には常に獨占の分前を要求する大資本が控へてゐる、例へば製糸業組合は二つか三つの支配的な大製糸會社に牛耳られてゐるばかりでなく、支配の實權は更に三井その他の巨大資本を中心とする生糸輸出業組合に握られてゐる、蠶種組合や製糸家の特約組合の場合などはかゝる關係の最も露骨なものである、更に各種の工業組合や輸出組合をつくつてゐる陶磁器、綿、眞田、セルロイド等の小企業家達は、例へば彼等相互の間の統制に多少とも成功し、それによつて彼等がいくらかでもゆとりができると、彼等に對して原料その他のものを賣付ける大企業の獨占組織は忽ち價格を引上げるといふ風に、絕えずその脅迫をうけてゐる、或るまた組合による統制化によつて小企業家達の業界が安定模樣となれば財閥などが手を伸ばし良い工場をひつこ拔いて自分のものにしてしまふ

[illegible]　の產業組合の場合も同じやうな關係になつてゐる、例へば販賣組合や出荷組合が確立となつて統制をやり多くの農產物を一手に集めて販賣すれば、それを買取る製粉會社や製油會社や貴物市場會社や大輸出商などの獨占的な大資本は割はど政府の保護をうけた購入機關を無費用で新設擴張してゆくのも同樣で、從來の購入費用が節減されるばかりでなく統一され、標準化された農產物の大量を自分の言ひ値で坐ながらにして手に入れることになる、また購買組合が何から何まで自分の手で農家に品物を配給しようとすればするほど肥料、延荳、石油、資業などの必需品を生產する獨占的な大資本はこれも政府の保護をうけた買込機關をそれだけ多く利用すると同じことになり、販賣費を節約し商數量を殖やしつゝこれも言ひ値で直接農家に賣りつけることになる、要するに中間商人の排除から生ずる利益は永い間にはすべて大資本の手に歸する仕組になつてゐる、米穀統制法はどうであるか、これは米の値が上がる時節まで米をかこつて儲く餘裕ある地主階級（土地の獨占者）を利するのみで、收穫するが早いか、即ち賣らねばならぬ農民は少しも利益をうけぬばかりか、あとから自家の生產した米を安く賣つて高く買ひ戾すといふ悲慘なことになる

さういふわけで、小企業を統制する組織なるものはもつと强力な統制をやる大資本乃至は獨占資本が剩餘價値の自分の分前のみならず、小企業に歸すべき分前までも吸ひとるための道具やうな役目をする、だからいはゆる統制經濟の現段階においては諸々の小生產者達は獨占といふ[illegible]で、人絹獨占や、生糸輸出獨占は中小製糸家を喰ひ、絹糸獨占は無數の織物業を喰ひ、肥料獨占は農民大衆を喰ふといふ有樣になつてゐる、小生產者大衆に對する大資本の襲擊は統制が强化擴大されるのに比例して猛烈となり、小生產者達もこれに對して必死の抗爭を續けずにはゐられない、一口にいへば軋轢、衝突、闘爭は愈よ激化するわけである、それだけではない、一產業の大資本と他產業の大資本、一の獨占體と他の獨占體、一の財閥と他の財閥との間の軋轢、衝突、闘爭も猛烈である、いはゆる自由競爭の段階には到るところで行はれた分散的な小競り合ひが、今では謂はゞ集中部隊の衝突といふかたちをとることになる、その實、資本主義經濟における統制は本稿の最初に述べたやうに根本的な諸對立の基礎の上での統制である、生產手段の私的所有を前提する以上、同一商品の生產の增加を欲する者と減少を欲する者、同一商品の高い價格を欲する者と安い價格を欲する者等およそさやうな諸々の對立は必然である、それが必然である以上、統制もまた必然的に對立者各自の私的利益の線に沿うて進められるからそれぞれの陣營における統制が强化されるのに比例してまた統制の强化が多くの陣營に及ぶのに比例しておのづからの戰線における闘爭は愈よ集中的な形態をとることになる、これは國內的にも勿論さうだが、國際的には極めて明瞭である、國際的な資本の對立、闘爭の恐るべき激化は今や第二の世界戰爭の危機を深めてゐる

產業國營　なるものも、以上の如き狀態を變更する力はない、今日の制度下では國營企業と雖も私營企業と全く同一原則の上に立つて經營するより外はない、またすべての重要產業を國營にすることも出來るものではない、最近問題となつてゐる電力國營のいきさつをみてもそのことは明瞭である、殊に面白いのは初め政府は電力供給の豐富と低廉化を看板にして國營案を持ち出しておきながら、世間の批判に對して辯明に窮すると今度は國防上の必要を振り翳すに至つたことである、國防の必要とは凡そ理由の立たないこと、說明に窮することを無理押しに通さうとする際に最も便利な口實である、近年は國營養成論などといつて、產業や經濟も國防の見地から統制されねばならないとする、だが如何なる國においても國防なるものは經濟の狀態によつて規制されるもので、その逆ではない、若しも經濟の狀態に適應せざる國防計畫を樹て、それに從つて經濟を統制するならば、經濟は忽ち混亂に陷り、從つて國防そのものも崩壞するだらう、國防の見地よりする經濟の統制などといふことは極く限られた範圍においてのみ、極く短い期間だけ可能であるに過ぎない、一般民衆がこの際最も注意しなくてはならないのは、國防の名に隱れたる資本家的な『統制經濟』の强化である、これはムッソリーニの伊太利や、ヒットラーの獨逸の如く[illegible]の風靡をしてゐる國々に盛んにやつてゐる

要するに　自由主義經濟と統制經濟とは本質を異にする二つの經濟制度の異なる發展段階の特徵を示すに過ぎず、一は壯年期を、他は老衰期を現はすものに過ぎない、統制經濟は資本主義を是正するものだとか、公益を主とするものだとか、國防を主とするものだとか、すべてそのやうな詭辯的、瞞着的な言辭に惑はされないやうにすることは統制經濟の下に益々疲弊と負擔とを加重される一般民衆にとつて最も必要なことである

着實眞劍に進め
重荷を負ふて遠き道をゆく

金組聯合會長　矢鍋永三郎

歲華改まりて茲に皇紀二千五百九十七年の新春を迎ふるに當り恭しく聖壽の無窮を祈り奉り昭代の隆運を頌し奉る

さて今年は金融組合制度創始卅周年に當り組合史上一年代を劃するものとして記念すべき歲である、卅年必らずしも永しとはいへないが、之を人間一生の上から見れば決して短いものではない、されば創始の恩人目賀田種太郎男爵のこのかた、組合事業の爲に獻身せられた朝野人士の數は蓋し夥しいものがあらう、由來金融組合事業は朝鮮統治史上に於ける誇るべき施設、成功せる事業の一として識者の稱讃を擅つてゐるがこのことたるや營々辛苦卅年に亘る先輩各位の絕大なる寄與の致す處であることに想到するとき、年頭深く頭の下るのを覺えるのである

申迄もなく組合事業は結合された人々の協同諧和に依り經濟と倫理との單元化を圖らんとするにあるが故に、その運營は心主物從を第一義とすべく、從て其の動向が社會に反響する所も大きい、組合事業が往時の如く未だ單純であつた時代はその機能の發揮も大でなかつたかと思はれるが、今日は機構の上に於ても、業務部面の上に於ても著しく複雜多岐となつてをり、從て組合活動が世上に及ぼす影響も小さくないと思ふ

組合事業の複雜化　先づ機構の點を見るに中樞機關である聯合會はその會員として金融組合の外に產業組合及漁業組合の一部を包容してゐる、又金融組合及產業組合に於ては個人組合員の外に部落的法人である殖產契をも加入せしめてゐる。卽ち組合事業の體制は聯合會、組合及殖產契の三者層々相連立することに依つて始めて全きを成すと云ふ有樣である、從つて業務の如きも往時の單なる庶民金融と言ふに比し遙かに多角形化し又立體化してゐる、之を金融部門のみについて見ても聯合會の會員に對する資金調節の如きも單に預金貸出に止まらず今日に於ては貸替、金融債券の發行、有價證券の買入等にも及んで來た、同樣に又組合に於ても預金貸出業務に並んで一般銀行の代理店、組合相互間の代理業務、貨物の倉庫保管と云ふが如きこと迄擴充せられて來てゐる、加之貸出業務に於ても農家更生運動と深き關係ある高利債務整理、特殊產業、農事改良、米價調節、水害地復舊等の如き國策的金融をも擔當するといふ有樣である、斯樣に組合金融も往時に於ける夫れとは甚しく趣を異にしてゐるが、偶殖產契制度の發生を契機として組合は新たに購買販賣の如き事業部門にも參加することゝなり、今や金融組合事業は金融と事業兩面の機關となるに至つた

次に組合事業に於ける數字も近年著るしく增大し、聯合會々員は金融組合及產業法人合せて七百六十二の組合を算するに至つた、就中金融組合の數は村落六百三十九組合、都市六十二組合合計七百一組合に上り、その外に支所二百一ヶ所を有し、その一事務區域は平均二ヶ面半といふ割合迄縮少せられて全鮮津々浦々に散在するといふ有樣である、之等の金融組合が包容する組合員の數も今や百五十萬人に垂んとし殊に今後は殖產契が增設せらるゝ事に依て全鮮各部落が組合の利用を享くる事とならんとしてゐる、之が爲貸出預金の如き主要業務も近年目覺ましく進展し、貸出金の如きは聯合會に於て一億圓、金融組合に於て一億圓を突破するといふ狀況である、右の如く組合事業は今日組織の上に於ても數字の上に於ても非常な變化を來してゐるからその働きが社會に及ぼす影響も昔日の比ではない、故に組合人はこの點を深く感心し眞に社會の公僕として立つの覺悟を要すると考へる聯合會が昨臘「我等の綱領」なるものを揭げ組合職員の反省に訴へたのもその意はこゝにある卽ち年頭に當り七千人組合人及百五十萬組合員と共に卅年來わが組合事業が先輩各位から受けて來た恩顧に對し深く感謝の情を披瀝すると同時に、現狀を熟視して一層の自省自戒を致さんことを誓ひ度いと思ふ次第である

組合事業と其近況　顧つて過ぐる一年の組合事業の推移に付て回顧して見るに先づ金融方面に於ては五回に亘り金融債券を發行し會員の爲有利なる資金を供給するを得た之は當該市場關係各位の御盡力に依る處勘くないが、一面金融界に於て金融組合の存在が廣く認識された一證左とも考へられるもので寔に我組合界に取つて喜びに堪へない處である、又金利關でも一昨年に引續き貸付利金に亘り重ねての利下を斷行し旁々各組合金利の全鮮的平準化を進めることが出來たことは全鮮組合員の利益均霑の上から相當の效果が齎されるものと信ずる、而して將來金組合員の增容が成り且殖產契產業の開發が進めらるゝに從て資金の取入は愈々多忙になるであらうと思はれるが、この點に於ては各金融組合に於てもその貯蓄機關としての任務の上に一層の精進を加へ、自他相待つて組合員に對する資金供給の上に些の不安なからしむると共に何々協力して頂きたいと思ふ而して昨夏の中南鮮地方に於ける風水害の惨禍は同地方組合員に對し深刻な打擊を與へてをり金融組合として之が救濟工作は重要な任務であると存ずるので、同地方の復興の爲には引き續き系統機關協力の下に今後も力を注がなければならない

次に殖產契の設立に依り新に購買販賣事業が起り聯合會に於ても昨年四月從來の事業課を擴張して事業部となし、その中に購買販賣の二課を設けたのであるが、本事業は世の視聽を集むる所も深い次第であつて、宜しく時勢の推移と地方的事情とに順應して進むべきであると思ふ、周知の如く內地方面に於ては反產業運動等の問題も聞くのであるが斯くの如きはわが半島に於ては斷じて避けなければならないと考へるので、聯合會に於ても昨秋「購買販賣事業要綱」を制定發表し、本事業將來の方針を明かにした次第である、組合關係者にあつては既に深き注意が喚起せられてゐると信ずるのであるが、本事業に對しては世の識者各位の理解を求めることも急務でならないと思ふ、而して組合が購買販賣事業を圓滑ならしむるに付ては素より殖產契の普及を要件とするので、各組合は少くとも數年を出でずして全部落を殖產契化するの抱負の下に努力したいものである、尙又金融組合に於ては昭和八年以來所謂總戶數の五割包容計畫を進めてをり本年は恰もその最終年度に相當してゐるのであるが、幸に第一線各位の不斷の奔走に依り着々實績が擧げられてゐるとは喜びに堪へない、斯樣にして殖產契の普及と組合員の增容とに依り組合機能の徹底を期せんとしてゐるのであるが、前述の如く組合事業が金融と事業兩面の働きをなすに至つた今日に於てはその組合員個々の家庭に於て宜しく組合精神を諒解し之を實行に移すことを必要とするので、之が側面工作として從來各金融組合に組合婦人會が組織され現にその數約四千であるが、之等の婦人活動も亦輕視し去り得ないものがある、依つて聯合會に於ては最初の試みとして南鮮全鮮組合より四十名の中堅婦人を招集し一週間に亘り講習を授けた次第であつたが、斯樣にして各種の施設相絡んで組合員の間に相互扶助の精神が徹底するに及んで組合活動は愈々軌道に乘り以て中小產業者の理想的安住地となると信ずるのである、而して過去一年わが經濟界が贏潤活況裡に終始した事は慶賀すべきであるが、之を國民生活の上から見れば物價は漸騰の趨勢を示してをり、政府の增稅亦避け難い情態であるのみならず歐洲政局の絕えざる不安、隣邦支那に於る動搖等我國際情勢は依然として安定する處を知らず、所謂我國非常時局は未だ以て解消するに至つてゐない、今後對外貿易、國內產業の趨向に於ける波瀾曲折も免れないものであると思はれる、この間に立つて我々が最も反省を要するのが、古人の所謂「重荷を負ふて遠き道を行く」心構を養ひ、以て組合員各個が着實眞劍なる態度を以つて生活を營まれんことを期待する次第である

半島產業經濟界は　頗る順調に推移
但し漫然樂觀は禁物

半島產業經濟界は金輸出再禁止以來、日本の貿易躍進に伴ひ世界經濟の動きに步調を合せて宇垣總督時代から順調な發展を辿り更に十一年度に各種大事業の勃興を見、米高に依つて異常な活況を呈したが本十二年は果して如何なる推移を辿るであらうか、これが前途を卜してみる

世界經濟は不振の底入れ後上昇機運を孕みながら準戰時體制下の中歐洲諸國に重苦しいものあり、我國では二月事件を契機に財政經濟政策は大變更各方面に異常なショックを與へたが、半島財界は大した影響なくむしろ惠まれた一年を送つたのは內地の過剩資本が鮮內に流入し、これを當政者が時代に順應した適宜な措置をなし、民間またこれに呼應して善處したのと順調を示したといふべきであらう、從つて本年度の產業經濟界もその後を受けて好調の一年であるものと思惟し且つ希望するものであるが、必ずしも無批判、且つ浮つ調子に從來の財界好調に心醉禁物して漫然として今後の

好調持續を期待することは許されない

即ち、農業は昨年の凶作は當然本年の財界全般に影響するであらうし農村の食糧問題、過剩人口の對策は一層の關心が必要とされ更に工業部問題では內鮮間のフリクシヨンの解決、鑛業資源の開發は內鮮間の緊密な提攜が叫ばれてゐるこの他金融機構の改善、勞働者の需給調節、交通運輸の整備擴張等各面の重要問題も勘くない、尤も昨年產業經濟調査會の答申は內鮮滿ブロック經濟の一環としての認識を加味して第二、四年計畫以降の朝鮮財界の行手を示唆したので、今後の計畫もこの示唆の線に添ふて進められるであらうが具體的の措置に就ては諸種の問題が發生するものと見なければならない、以上の如く半島財界は多幸の一年を送つて再飛躍を約束する十二年の初頭に立つた、勿論今後の財界前途を不用意に漫然と樂觀し去るが如きは極力避けねばならない

朝鮮咸興驛前　咸興府營市場代行者　咸興漁菜株式會社　取締役社長　大島松一　取締役支配人　下釜賢三　電話長一四〇番

咸興料理業組合

咸興警察署　職員一同

咸興府軍營通一丁目　山田蔘藥堂　電話四五

山田寫眞機店　電九〇九

咸興辯護士會

恭賀新年

咸興府曙町　株式會社　咸興券番　電話五三九番　八三三番

咸興府大和町三　雜貨商　高倉商店　電話一〇五番

咸南咸興府軍營通一ノ八三　婦人子供洋服附屬品　三日月洋服店　古寺直三　電話一〇五八番

咸興府大和町一　金光正市　電話一四番

咸興府本町二　割烹　住よし　電話七四六

土木建築請負　和洋家具建具指物一式　田野岡工務所　田野岡賢一　電話二〇九番　興南邑本町三丁目

鮮內外一般建築材、諸板挽材製材販賣　化粧材屋敷床廻用材、落葉松基礎杭製函材　興南邑驛前　合資會社　小池商店　電話長一四番

興南邑本町　十カへり　電話長一三七番

咸南興南邑本町　カフエー　さゞなみ　電一二九番

咸鏡南道興南邑　邑事務所

興南邑驛前　興南魚菜市場株式會社　社長　上野百合市

咸南興南邑　御料理　住乃江　遠田理喜造

咸南興南邑　昭和館　砥綿啓太　長電話二〇七番

興南邑本町二丁目　井上酒造支店　主　毛利元記　電話二七番　（特約品、菊正宗、金千代、キッコーマン食料品）

割烹　御料理　仕出し　松金本店食道樂　電話五三番　東京生そば　京壽し　松金支店　永田金右衛門　咸南興南邑

興南邑本町一丁目　小川金物店　小川松義　電話一二五番

興南邑九龍里　樂園會館　電話一六三番

咸興驛前　朝日タクシー株式會社　電話六四七番

咸州郡公立學校　職員團

丸安濱口合名會社　罐詰部　新昌工場　咸南新昌港　電話二〇番

咸鏡南道機船底曳網漁業組合聯合會　咸鏡南道機船底曳網漁業組合西湖津出張所

定平郡內各官公署　定平郡內公立學校　職員一同

咸鏡南道廳食堂員一同

咸興府榮町　割烹　長崎亭　窪寺辰次郎　電話四七番　一四七番

咸興金曜會

咸鏡南道新浦港　川南工業株式會社　朝鮮工業所　新浦工場　六垢工場　庫底工場

謹賀新年

咸南咸州郡興南邑 醫院 李建承 電話五一番

東海水産株式會社 西湖出張所 電話一九番

咸南咸州郡興南邑 金命濟

咸南咸州郡興南邑 竹之内齒科醫院 電話一四九番

咸南長津郡森林保護區 寺田清心

咸南下碣 地主 鄭昌奎

新興面協議會員 下碣衛生組合長 下碣營業組合長 咸南下碣 李完吉

咸南 下碣警察署 職員一同

咸南長津 三成釀酒所

咸南長津 咸興與勢酒店支店長 朴成玉

咸興府大和町二丁目拾四番地 北鮮倉庫株式會社 ㊓成運送部 電長三三五・四三三五番

咸興府會議員 池田金治郎 電話七四四番

咸興府本町一 中村時計店 電長二一五番 振替七九三三番

花井造園 咸興府軍營通 浩田萬翠園 電話九一六番

咸興府大和町 株式會社 咸興館 電話長三六一番

咸興府大和町 北谷德一 咸興支店 電話三三八・三三六番

咸興府會議員 咸興商工會議所議員 手平良藏 咸興府本町一

咸興府會議員 姫野關太郎 咸興府日出町

咸南下碣 吉田商店

咸南下碣郵便所 所長 板垣忠

咸南長津 料理店 芳美亭

咸南長津 軍昌百貨店

咸南長津 武藏家旅館

咸興府軍營通二 ホシ藥局 電話一〇四二番

咸興府春日町 松下松太郎

歩兵第七十四聯隊酒保指定舖 各官廳學校御指定舖 高見靴鞄店 咸興府軍營通り 電話八二七番

咸興府軍營通一 大阪屋百貨店 電話三六〇・六〇一番

咸興府會議員 金基憲

咸興府中央町三 富の鋼特約店 讃岐屋商店 電話六六七番

咸興府本町一丁目 恒松藥局 電話三三〇番

咸興府軍營通一 鹽入寫眞館 電話三三〇番

咸興營林署職員一同

咸興本町一丁目 是吉廣之助商店 電話八三一番

司法書士 李龍徽 事務所 咸興府住吉町六一番地 本宅 咸興府本町四丁目三九 電話一〇四九番

咸興府會議員 李衡宋

咸興府中央町三 カフエー らく樂 電話八三九番

咸興府軍營通 販賣店 右田商會 本店 電話長四五五番 分店 電話二二〇七番

咸興府錦町 咸興(大一)商會 電話四五七番

咸興府大和町 御料理 雀のお宿 電話三八〇番

咸南利原邑 警察署 職員一同

咸南咸州郡興南邑本町一 小山時計店 電話長一六番

咸南咸州郡興南邑 北鮮食料雜貨店 新田貞二 電話三三番

株式會社 三中井興南支店 電話二六番

新興鐵道株式會社 清田戊寅 咸南咸州郡興南邑

咸南下碣 鑛業 池源永

咸南 長津金融組合 下碣金融組合

咸南長津郡々内面三浦里 長津鑛業所

咸南長津郡內 公立學校々長團

咸南長津郡北面仁山里 木材業 朱在靖

咸南長津邑內 木材業 金熙淳

咸南長津 不二屋旅館

咸興府大和町 パレス會館 電話八二四番

咸興府會議員 李翊華 咸興府萬歲町

咸興府會議員 大川市二 咸興府朝日町一三〇

咸興文具商組合

咸興府大和町 南海食堂(三階) 南海グリル(二階) 電話八一一番

咸南合同電氣會社 北青支店長

片山煥太郎

咸鏡木材會社 宮本喜一

下車碣面 職員一同

北青郡泥谷面三巨里 公醫 白載煥

楊川公普校 富田幸夫

北青邑內里 出口明

北鮮倉庫株式會社 北青支店

中央齒科 盧龍奎

朝鮮鑛業開發株式會社 興南製錬所 咸鏡南道興南邑

朝鮮窒素肥料株式會社 咸鏡南道興南邑

咸南咸州郡興南邑 一ノ宮近藏

咸南咸州郡西湖津 漁具雜貨 村田三之助 電話三二番

咸南咸州郡興南邑 江崎鐵所 江崎爲藏 電話二五番

咸南 長津有志倶樂部

咸南長津郡 郡內面 上南面 中南面 新南面 西閑面 北面 東下面 職員一同

咸南下碣 三光醫院長(公醫) 鄭台敎

下碣醫院長 林在苑

咸南長津 長津醫院長(公醫) 朴仁洙

咸興仕入組合

咸興府軍營通一 石田雜貨店 電話六二九番

咸興府西咸興驛前 三協商會咸興支店 電話三六番

咸興府軍營通二 古橋商會 電話四〇〇番

馬山金曜會

馬山 水上醫院

郡北金融組合

馬山港町三國商會 陳海間

馬山 興倉信義

昌原公立鎭東小學校長 倉岡誠吾

馬山 平井寛緣

馬山府元町 カフエー 白馬會館

朝鮮馬山府元町 鐵材商 松原商店 電話長四番

馬山 朝鮮酒造組合

馬山府午東洞 金一鳳

咸安金融組合

馬山府元町一九九番地 慶南鐵道資動車合同馬山營業所 電話三五四番

晉州刑務支所

馬山府 福井增次郎

晉州郵便局長 江口正吉

晉州道立醫院

三千浦 花月旅館 花月料理部

三千浦 龜岡一

三千浦商業銀行支店

張應相

馬山府本町 前原嘉六

馬山府元町 福島廻漕店

朝鮮馬山府元町 元東貿易株式會社

馬山府都町一丁目 公債株式物賣買 北川昌作商店 電話三七番

朝鮮馬山府本町二丁目 材木商 日加田商會 電話六・一〇一番

舊馬山郵便所 高島武三郎

馬山交禮會

東洋製絲株式會社 鎭海工場

晉州警察署 職員一同

三千浦漁業組合

南鮮證券會社 代表者 西村敬一郎 馬山府本町一丁目十一

昌原郡廳 職員一同

泗川郡廳

昭和酒類株式會社 馬山府浩町一丁目二〇番地

山邑酒造株式會社 馬山工場

咸安郡廳 職員一同

宜寧郡廳 職員一同

晉州郡農會

美人票市場網 白馬票中入綿 製造元 株式會社 馬山繰綿工場 製糸部 朝鮮馬山府

晉州 實業春秋會

馬山穀物商組合

馬山府京町一丁目七番地 河野竹治郎

朝鮮慶尚南道晉州邑臨町 原田自動車部 電話一五五・三〇三番

宜寧郡校長倶樂部

馬山府京町 酒林 西田酒造場

鎭海邑長 牛島熊記

株式會社 晉州 長尾商店

泗川郡學校長會

馬山警察署長 小島孝

京城土木合資會社 咸安出張所

大邱地方專賣局晉州出張所 職員一同

進永學校組合 管理者 青柳種吉

慶南自動車株式會社 金海營業所 電話五番

三千浦邑長 華樹寛齋

晉州公立學校長會

慶南自動車株式會社 晉州營業所長

鎭海金曜會

陝川警察署

署友會

晉州 清水合資會社 社長 清水佐太郎

泗川水利組合

泗川警察署 職員一同

昌寧警察署 署長 熊谷新作 外一同

昌寧邑 金斗賛

密陽郡守山精米所 野脇貢

密陽郡醫師會

上南面永林 筒井嘉平

丹陽面表忠寺 住持 具蓮耘

丹陽面長 李炳年

密陽邑會議員 光友近藏

密陽邑會議員 鹽見源太郎

密陽邑長 牧島國五郎

密陽城內 鑛業 榎本德太郎

府北水利組合 職員一同

密陽稅務署員一同

密陽公立農蠶學校 同 公立高等小學校 密陽公立普通學校

慶南合同自動車株式會社 密陽營業所

京釜線密陽驛前 貨物自動車貨物運送業 合同貨物運送株式會社 電話六五番

密陽金融組合 職員一同

密陽驛前 戸田常吉

密陽料理屋組合(イロハ順)
香嘉龜竹太嶺不惠密笑
壽 廼陽南老比 陽 福 旅
月川早家宜館園須館亭

密陽酒造株式會社

密陽藥酒株式會社

密陽驛前 鐵道局指定 密陽旅館 電話一一番

密陽郡廳員一同 電話三三番

京城帝國大學 速水滉 上野直昭 上田常吉

京城證券團

京城府旭町二丁目拾番地 日本タイプライター株式會社 京城出張所 電話本局九二三番

京城自動車販賣協會

中央試驗所 職員一同

京城府本町五丁目 難波酒造場 電本一四六二・三〇六八 支店・義州通二丁目 電話(光)一一四五番

京城府太平通一ノ二五 朝鮮製錬株式會社

京城印刷組合

京城土木建築業協會 伊達四雄 谷助市 森武彦

コドモの頁

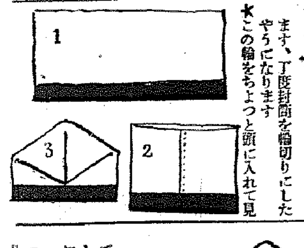
ロンドンの少年に流行してゐる 紙帽子 疊み方

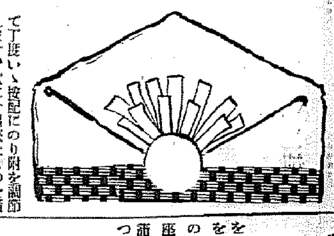
★…日本の少年はよくカブトやサンペの帽子を紙を疊んで冠りますが、西洋のコドモもこれに似たやうな紙帽子をこしらへて冠ります

★――これはイギリスの少年が好んでつくる紙帽子、皆さんも一つ折つて見て下さい

（折り方）紙は1の型のやうに切りますが、横巾は大體あなたの頭の周圍の長さよりも一糎ばかり長くして下さい、この紙の兩端を糊で張り輪をつくります、丁度封筒を輪切りにしたやうになります

★この輪をちよつと頭に入れて見て丁度いゝ按配にのり附を調節します、次に今出來たものを横に二つ折りして折目をつけ開き一方の部分に手を入れて開き3の型に折り疊むのです、そして片側へ出來あがり圖のやうなカザリを入れます





人あて

一同圓座をつくつてジヤンケンをやり、負けた者が手拭で目隠しをして中央に出ます、その間に他のものはそれぞれ知れないやうに座席の取替へをやつてしまつて座布團に坐ります、一人審判役になつてもらつて用意が出來たことを目隠しした者へ囁へますと、鬼者は圓座の者の手だけをさはつたりさすつたりして姉か兄かを言ひ當てるのです、この時審判は〻その通りです〻違ひます〻などとそれぞれ答へてやります、かうして三人だけ言ひ當てたら次の者に代つてもらふといふ風に順次鬼番を交替するのです

お正月のお便りに 印葉の工夫は いかゞです 誰にでも出來ます

お正月にお友達へ春の便りでもなさらうといふ時次のやうな工夫をすると、目新しい繪葉書が出來上ります、官製はがきでもよく、また、繪用紙を切つて私製はがきを作り一錢五厘の切手を貼つてもよろしい

この場合氣をつけなければならないことは繪用紙を切つて私製はがきを作つた時には表の宛名を書く所に官製はがきのやうに『郵便はがき』の文字を書いておかないと、先方へ配達された時不足税（三錢）をとられます、お正月早々不足税は誰しも嫌やなことですからお互に氣をつけませう

印葉の作り方

さて、こゝに御紹介するのは『印葉』ですこれに使ふ葉の種類は何でもいゝやうなもの、先づ目出度い南天や裏白や椎竹がいゝでせう、これらの葉振りのおもしろさうな所を切つてはがきの上に載せてどんな向きに配置したらいゝかを考へます、それがきまつたならば次に一晝夜だけ古雜誌の間に挾み込んで他の本を大分重ねてのせて重みをかけておきます

印刷の仕方

今度はそれを取出し一方面に「繪り出し繪具」を水で薄い目にといて筆で葉の端部に塗し當て、吸取紙で葉の上から撫で輕く押しつけます、さうすると見事に葉模樣が紙に寫ります

此の場合色彩はやはり實物に近い色を使ひ、葉面に塗る時はベタベタさせずにごく薄め加減につけた方が仕上げが上手に行きます、

お正月子供川柳

岩本正二画作

ドウワ 兎と烏

小川未明作　野本年一画

（お）正月で（も）山の中は、寒い風が吹いて木の枝を鳴らし、雪がちらちらと降つて、それはそれはさびしかつたのです

「ほんたうに、お正月が來てもつまらないなあ」

と、烏は、ため息をつきました、「町の方は賑かなのだらう、ひとつ出かけて見ようかなあ」としばらく木の枝に止つて、考へてゐましたが、そのうちに、さう心にきめて、遠い町の方をさして飛んで行きました

…………◎…………

どこを見ても、雪の野原で眞白でした、だんだん町が近づくにつれて、道の上に人通りが多くなりました、雪道の上を歩いて行く者もあれば、橇に乘つて行く者もあります、また、お正月のご馳走を造るために、魚を運ぶ橇もあれば、みんなの喜ぶ蜜柑や、或は昆布や、薪木のやうなものや、鳥賊などを積んで行く橇も見受けられたのでありました

（慾）深な烏（は）何を見てもほしいものばかりなので、もしや、このあたりに何か落ちてゐはしないかと、あたりを見まはしながら、彼方の木、此方の木とうろうろ飛び廻つてゐましたすると、町から少し離れたところに森があつて、其處に一軒の立派な家があり、煙突から煙が上つてゐました、烏は、その森に來て止ると、家の中からは、おいしさうな香ひが流れてゐましたので、烏は、たうとう一番低い小舍の屋根まで降りて來ました

…………◎…………

それは、この家の犬小舍でありました、中には、一疋の犬が、藁の上にはらばひになつてゐましたがその白と黒のぶち犬を、どこかで見覺えがありましたので、烏は、ちろちろと犬の方を眺めてゐました

犬は、妙な烏と思つたのでせう、不意に『ワン』といつて、烏をおびやかしました、烏は、この瞬間に犬のことを思ひ出したのです

『やあ、犬さん、あなたのお家はこゝですか？』

と、聲をかけました、犬は、不思議さうに烏を見てゐましたが

『烏君、いつ君にお目にかゝつたことがあつたかね、思ひ出せないが？』

と、犬は、たづねたのです、烏は

（狡）さうな（眼）付をして、犬を見てゐましたが、

『あなたは、先達て、山で、兎を追ひかけて、たうとう逃がしてしまひなされたのを、私は、木に止つて見てゐました、あなたは、たいさう殘念さうでありましたね』

と、烏は、いひました

『あゝ、あの時、君は、どこかで見てゐたのですか、僕は、主人に對して、ほんたうに面目なかつたのだ」

と、犬は、急に、恥かしさうにして答へました

『なに、あの兎なら、また捕へることが出來ないともかぎりませんよ、私が、うまくいつて、この野原へつれ出して來ることも出來るのです」

と、烏は、いひました

…………◎…………

犬は、この間、主人の伴をして、獵に出かけて、主人が

（打）ち損つ（た）兎を追ひつめて、もう少しで捕へるところを逃してしまつたので、殘念に思つてゐた際ですから、烏のいつたことをきいてどんなに喜んだでせう

『君の智慧でこの野原まであの兎を誘び出してくれたら、僕の出來ることなら、どんなお禮でもするよ、まあこゝへ下りて來たまへお正月のご馳走があるから、食べてくれたまへ」

と、犬は、いひました

烏は、さういはれるのを待つてゐました、さつきから、犬の傍にあつた、コンビーフのかかつたご飯や、餅の塊りなどがほしかつたのです、烏は早速下りて來て、澤山食べました、そして、明日の晩方

（雪）の野原（へ）兎を連れて來ることを約束して歸りました犬は、今度こそ、兎を見付けたら、逃がさないと思ひました、そして、藁の上に臥ながら、「兎は、山に餌がなくなつたから、烏の口車に乘つて、廣い大根の畑りや、藪の枝を食べに來る氣になるかもしれない、だが、利巧な兎だ、あの烏め、うまく誘ひ出せるかなあ」

と、犬は、考へてみました

…………◎…………

烏は、山へ歸ると、すぐに、兎のゐる場所へやつて來ました、そこは、林の中の大きな木の根で、そこだけは雪が薄かつたのでした、兎は、根の洞穴の中で、子供と睦まじく暮らしてゐました

『兎さん、今日は』と、烏が、穴から覗いて、聲をかけました

『何ですか、烏さん』

と、兎は顔を出して、いひましと

『お正月で、町の方が賑かですから、見物にお出かけなさるやう、おすゝめに來たのです、どんなに賑かですか？』

「ちよつと、彼方の野原まで出てごらんなさい、蜜柑を澤山積んだ橇が通るし、大根や、牛蒡や

（お）魚なぞ（を）載せた橇が通りますよ、まあ、あのご馳走を見るだけでも眼の樂しみになります、明日の晩方、暗くならないうちに、私が、いゝところへご案内しますよ』

と、烏は、いひました

『町に住む人達は、贅澤ですね』

『えゝ贅澤ですとも、さうさういつかあなたを追ひかけた犬までがコンビーフのかゝつたご飯を食べてゐましたよ』

と、おしやべりの烏は、いひました、利巧な兎は默つてきいてゐましたが、烏が歸ると、穴の中へ入つて、子兎に向ひ

『もう私達は、こゝに安心してゐることが出來ないのだよ、さあ今夜のうちに引越しをしませう』といつて、烏の氣の付かない、山の奧へ入つてしまひました

明くる日、烏が來た時には、木の根の洞穴の中は、全く空つぽになつてゐました（をはり）

賀正

京城府花園町
花園町公設市場一同

京城府西小門町四十二番地
株式會社 藤澤友吉商店
京城支店

京城手形交換組合銀行

京城府鍾路一丁目三十六番地
横濱火災海上保險會社
京城支店

京城府本町二丁目
喜久家
電話本局一三八三

櫻麥酒販賣株式會社
京城出張所
京城府長谷川町四五
電話本局五四九二 五四九三番

京城府永樂町二ノ五
共濟無盡株式會社

京城府古市町
日の丸タクシー
電話本局五四三三番

新町貸座敷組合

京城明治町二丁目
三和株式店
電話本局六一〇一番

三中井

京城府蓬萊町一丁目一〇三
京仁トラック株式會社
電話本局三七五三 五四一七番

大日本人造肥料株式會社
京城出張所
京城府南大門通り一
日本生命ビルデング三階

金剛荘
金剛荘溫泉供給株式會社
社長 加藤勘助
京城本町入口 篠崎ビル
電話本局四四六三番

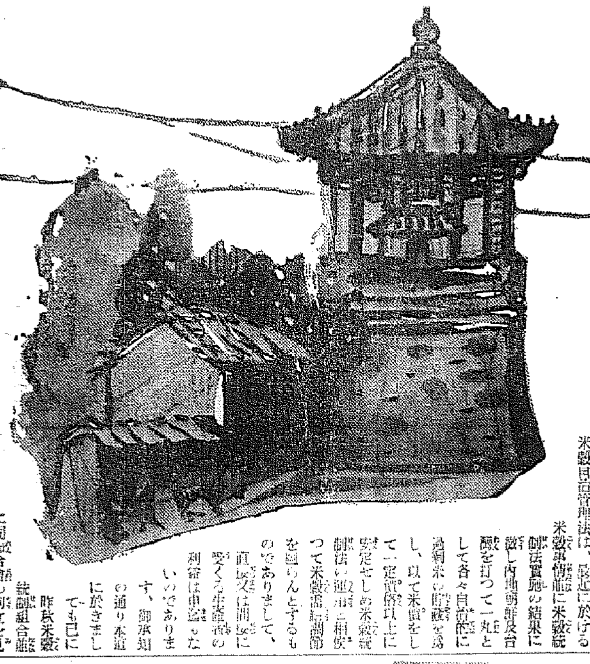
京城府明治町二丁目
興業無盡株式會社
取締役社長 佐野彥藏

朝鮮鰯油肥製造業水産組合聯合會

京城辯護士會

醫科器械一般 レントゲン裝置 醫療電氣器械 齒科器械一般 醫療藥品 理化學及光學器械 度量衡器販賣 病院設備一式
株式會社 後藤風雲堂
京城出張所
京城府南大門通五丁目一番地（日海ビル）
電話本局（長）二五七一番（長）二八八五番 振替口座一〇二三番
本社 東京 工場 北京 大阪
出張所 札幌・大連・奉天・新京

五十四番
戊辰會



農山漁村よ躍れ……
われ等の父は自力更生激勵

誇らしい建設譜
非常時の意氣で押し進め
道民の協力に期待する
全羅南道知事　松本伊織

一陽來復茲に昭和十二年の新春を迎へ二百五十萬道民諸氏と共に謹みて聖壽の萬歲、寶祚の無窮を壽ぎ奉り、併て國運の隆昌を禱ると共に更に新興の意氣と高遠なる理想とを以て道治の進展に一路邁進せんとするものであります、顧みて昨昭和十一年に於ける本道內外の情勢を觀じまするに、昨夏道內一圓を襲ひました風水害は想像以上の激甚さを極めたのでありまして此等罹災者諸氏に對しては眞に同情の念禁じ得ざるものがあつたのであります

畏くも　天皇陛下におかせられましてはその宸襟を惱まさせ給ひ、特に侍從を御差遣遊ばされ、本道罹災地をも視察せしめられ、同侍從よりは優渥なる　聖旨の傳達を拜受致しまするとともに　天皇皇后兩陛下におかせられましては二回に亘り御救恤の資を下し賜つたのでありまして眞に天恩の洪大無邊なる御仁慈に感激に堪へない次第であります。關係罹災者に對しましては當時直ちに　聖旨に副ひ奉る救恤金の傳達を爲し　聖慮に副ひ奉るの覺悟を諭したのでありまするが、幸各地とも自暴自棄に陷ることなく自力更生の意氣に燃え農作物の減收に備ふるに夙夜孜々とくましき努力を續けつゝあるを見て感激致して居る次第でありまして、當時を追憶しては感慨更に新なるものがあるのであります

農山漁村振興の運動は關係官民擧げての協力により今や民衆の自覺を促し津々浦々に至るまで振興の氣漲ち之が完成への極めて順調なる道程を辿りつゝあるのでありまするが、爰に計畫第五年を迎へ更に既定計畫に愼重なる檢討を加へ周到緻密なる工風と研究とを重ね、以て有終の美を期するに更に一段の努力を惜まないものであります、今後一層官民諸氏の御協力を御願する次第であります

客年五月實施を見るに至りました米穀自治管理法は、最近に於ける米穀事情に米穀統制法實施の結果に鑑み內地朝鮮及臺灣を打つて一丸として各々自治的に過剩米の貯藏を爲し以て米價をして一定價格以上に安定せしめ米穀統制法の運用と相俟つて米穀需給調節を圖らんとするものでありまして、直接又は間接に受くる半島農村の利益は甚大なものがあります、御承知の通り本道に於きましても已に昨秋米穀統制組合聯合會の創立を見たのでありまするが、今後組合當事者に於かれては組合員の充分なる自覺を促し組合本來の目的遂行に努力せられたいのであります

其他道內各種產業施設は漸次健實なる發達を遂げつゝあるのでありまするが、多年待望せる全羅線は漸く之が開通を見るに至り邦家のため洵に慶祝に堪へざるは勿論、本道產業文化の開發上至大の好影響を齎すべく本道の前途に正に隆々昭如たるものがあるのでありまして之に伴ふ產業施設の助長擴充資源の開發敎育施設の完備、土木交通の整備乃至に諸政策の更張等今後益々多事ならんとする秋、この新年劈頭に於て心機を新にして道治完成への力強き一歩を進めたいと思ふのであります友邦滿洲國も基礎愈々固きを加へ日滿一體化の實加はると共に東亞永遠の和平に確として輝き來つたのでありますが、尙帝國內外の情勢も頗る多事多難未だ非常時局の域を脫することなく、殊に日支關係に於ては累卵の危機を孕み由々しき事態の發生をも保し難き情勢に直面して居るのであります、道民諸氏は此際徒らに前途を杞憂し焦慮することなく安んじて生業に勵み大いに國力、國富の增大充實を期し以て他日に備ふるの用意と强き信念とを堅持せられたいのであります

茲に本道初一年の新春を迎ふるに當り所懷の一端を述べて道民諸氏の留意と翼贊協力とを希求して已まぬ次第であります

中堅人物に期待
活模範として責任を果たせ
慶尙北道知事　上瀧基

昭和十二年の新春を迎ふるに當り謹みて東方を拜し　聖壽の萬歲を壽ぎ國運の隆昌を祈り奉ります、畏くも　天皇陛下に於かせられましては客秋御親ら北海の野に進めさせられ、風雨の御厭もなく、親く陸軍特別大演習を御統監遊ばされ、蹕いで地方に行幸あり、親しく地の民情に仁慈を垂れ給ひ、還幸後暫し御寛ぎの間もあらせられず再び御召艦を激浪逆巻く南の洋上に進めさせられ、海軍特別大演習を御統監の上大阪灣頭に於て盛大なる觀艦式を行はせられ、非常時日本の眞機の國防に御精勵遊ばされますことは、拜察するだに畏い極みでありまして、二百七十萬道民と共に、謹みて、玉體の益々御健かに亘らせられ、竹の園生の彌榮に榮えますやう、御祈り申上ぐる次第であります

顧まするに、昨年は我が國內外極めて多事でありましたが、殊に突如として中華民國に勃發せる動亂は、東亞の情勢を益々複雜多難ならしめ、前途逆睹すべからざるものがあるのでありまして、我國民は上下一致團結を堅持し、日滿一如の關係を愈よ强化し、磐石の態度を以て此の重大時局に善處しなければならないと信ずるのであります本道に於ては、昨夏未曾有の風水禍を蒙りましたが、當時畏くも　天皇陛下に於かせられましては、侍從を御差遣遊ばされ、更に　天皇皇后兩陛下より、御救恤金を御下賜あらせられましたことは、洵に恐懼感激に堪へない所であります、罹災民を始め全道民は　天恩の洪大無邊なるに恐懼奮起して日夜復舊の誠を致し、災害復舊に是れ勵めつゝありますが、災害の深刻なるに鑑へ本年度は土木、治山治水等の繼續的事業の遂行は勿論、更に災害復舊に特段の努力を拂ひ以て　聖恩の萬一に報ひ奉らんことを期する次第であります

農山漁村振興運動は、實施以來茲に第六年の春を迎へましたが、本道に於ては、夙に健實周密なる根本方針を確立し、官民一致の總努力を以て其の進展を圖り、嘗ては疲弊の一路を辿り、困窮のどん底に沈淪し、永劫に救はれる日が無いとさへ思はれずした多くの細民が、更生計劃の樹立に依つて雄々しくも起ち上り、多年の疲勞と苦難とを脱して春窮より救はれ、高利債の重壓より免れ、前途に輝かしい光明を望み、燃ゆる希望を抱きながら孜々として家業に精進して居りますことは、誠に現代の恩澤の然らしむる所でありまして、感激に堪へない次第であります、客臘國民精神作興週間を契機として、之が強化徹底を圖り、引續き全道に亘り更生部落、共勵組合に就て實績を査閲、指導せしめましたが、其の結果に鑑し、具に反省改善を加へ、今後助長又は改善すべき點を明確にして、本年は一層振興運動に指導を加へ、指導の深化と、實績の擧揚に邁進致し度いと存じます

本年度は五百有餘の共勵組合が組織せらるゝ豫定でありますが昨年以來農道訓練所、農業實修學校に於て心血を注いで鍛錬しました四百有餘名の中堅人物が夫々共勵組合の中核となつて活動しますことは本道農村振興運動史上劃期的の事實でありまして、其の活動に滿腔の信頼と期待とを懸けて居る次第でありますから中堅人物たる者は其の重責を自覺し一意我家の更生に精進して活模範を示し、以て組合員を實地指導し、又現地に於ける指導者は克く之を補導援助せられ度いのであります

尙國民教育の普及は、農山漁村振興、國家興隆の根蒂を培ふ所以でありますが、既に一面一校は昨年を以て完了致しましたので本年度より第二擴充計劃を實施すると共に、昨年來着々實效を收めつゝある生活の綜合指導に依る敎育の實際化を更に一層徹底せしめ、以て敎育の普及と向上とに努め度いと存じます

其の他產業の振興、土木、治山治水等各般の施設に依り災害の復舊を圖り、只管民力の涵養と道民の福祉增進に努めたいと存じます

幸に、道民各位は年頭に際し心氣を新にし、其の職分に恪遵し其の業務に淬礪し、去華就實身を以て難事に當らんとするの氣魄を持し、非常時局に善處せられんことを切望する次第であります、聊か所懷を述べて年頭の辭と致します

艱難は明日の繁榮
今日こそ與へられた必然の試煉
一意奉公の誠を致す
忠淸北道知事　金東勳

極東の海上に霞靉くして、瑞光輝く皇紀二千五百九十七年の初日を迎ふるに方り、百萬道民と共に恭しく　聖壽の無窮と竹の園生の彌榮を祝し奉り、併せて國運の隆昌を祈念する次第である

顧みるに過ぎた昭和十一年は所謂非常時局の絕頂たる年であつて我が國民の關心と注目は專ら對外關係諸問題の推移に集中されてゐたが昭々たる　御稜威の下、擧國一體之が克服に邁進せし爲先づ平和維持に開年せるのみならず殊に客冬に於て日獨防共協定と日伊協定の成立を見たのは我が對外政策の劃期的一大轉換を示したものであつて邦家の爲將又世界平和の爲洵に慶賀に堪へない次第である

內にしては二・二六事件の突發により帝都には年餘に亘る戒嚴令布かれ全國民に甚大なる衝激を與へ、朝鮮には稀代の暴風雨襲來し死傷者續出し慘害に傷悴たるものがあつたのであるが畏くも　陛下の御稜威と御聖旨により最も機宜適切なる善後措置が講ぜられて蒼生安堵　現代の幸福を謳歌し得るのは感激の至りである

惟ふに本年は皮相的に見れば非常時局の最高峰を越えたる第一年であつて之が解消に近寄いたるが如き形であるけれども內面的に考察せんか斷じて然らず、瞬間的の危機を孕んでゐるのであつて苟且にも居安の香に陶醉した國桃園の夢を貪るを許さぬものがある。即ち世界の情勢を一瞥するに軍備無條約の爭時代に入り海陸共爭競なる科學兵備の充實を爭ひ而も列强爭つて輕卒謀略に熱中し加ふるに經濟戰思想戰等殆ど全世界が軋轢と陰謀の渦中に捲込まれんとする樣な感さへ抱かしむるものあり就中北滿に於ける蘇聯の彪大なる軍備擴充と之が極東根據、赤化對嬰常なる支那の不可解なる態度等は帝國として最も深甚なる警戒を要するものがあるからである

斯る國際危機の眞只中に處し皇道國體の精髓を極め東亞の盟主たり且又指導者たるの重大使命を果さんとする帝國の進むべき前途たるや洵に多端であつて直截にいへば正義日本に對する列國の猜疑は依然として改まるべくもなく非常時相は寧ろ益々加はらんとするものあると見て差支ないと思ふ

併しながら艱難は明日の繁榮と膨脹を約束されたる國民に與へらるゝ必然の試煉であるのみならず混沌たる世に秩序を與へ平和を齎さんが爲奮鬪するとは皇國以來我が國民の抱懷せる一大理想であり又實踐道德であつたのだ、苟も東亞の安定を攪亂に僞ひ進んでは世界平和の確保と人類福祉の增進を目標とする六合一家八紘一宇の雄圖を昭和の現代に於て成就せねばならぬ我が國民の前には容易といふべき何ものもない譯であつて之に對する覺悟と決意は滿洲事變以來全世界に明にされた

彼の國際聯盟に於ける列國の重壓と環視の下に我等が代表の敢然として表明せる帝國の態度がそれであつたのである。我が國民は常に非常時なる幻影に怯ゆることなく破邪顯正の爲荊棘を步む聖者的態度と待期的姿勢にて擧國一致眞に飛躍、躍ひ來らんとする難局を未然に克服し以て天壤無窮の皇運を扶翼し奉り皇道を四海に布く宏謨の實現を期せねばならぬ。

數年來半島大衆の國家觀念、國民的自覺が著しく强化されつゝあるのも一は時局に對する明確なる認識の然らしむるものであつて洵に心强い所なるも未だ全般的に十分徹底せりとは斷じ難い、故に克く君臣一家の本義と金甌無缺なる國體の尊嚴を體認し榮譽の觸化たる日章旗を仰ぎつゝ皇國日本の彌榮に獻身せんとする帝國不拔なる國民精神の錬成に一段の努力を拂はねばならぬと思ふ

殊に朝鮮は內地と滿洲國とを結ぶ橋梁の如き重要なる位置にあるので南總督御赴任以來特に强調されつゝある鮮滿一如同和共榮の見地より滿洲帝國の大發展と之が具現に應分の寄與をなし以て國是の遂行に貢獻せんことを力むべきである

顧つて現狀を概觀するに　現代の恩澤洽く四民に及び百萬道民各其の業に安じ生を樂しみ各方面に亘り進勢の伸長見るべきものあるも昨秋に於ける風水禍の被害激甚なりしと農作物の減收とにより一部道民中にはその日の糊口に窮まさるる者もあるので所謂春窮期に備へる爲之が善後策の萬全を期せねばならぬと思ふのである

幸ひ最近道內人心著しく純化され國民意識と敬神崇祖の念益々昂きを加へ內鮮相携へて皇祖皇宗の神德に額き國運の發展を祈願するの熱誠愈々深刻として提起されつゝあるは衷心欣悦に堪へざる所であつて之が助長發達に就ては更に適切なる方策を講じたい

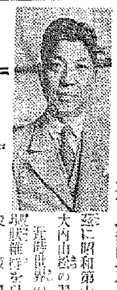
農村振興運動の促進徹底に就ては旣に最善を盡し實績も大いに擧揚されつゝあるが眞に有終の美果を收むるには之が方法上猶幾多の檢討省察を重ぬべき點も尠くない。而して今後特に力を注ぐべきは最前線に於ける人的要素を充實させることであつて自的自覺の主體たる農民の心構を動かし其の完全なる活動を促し得べき指導者其の人を得ると共に新なる工夫を凝らさねばならぬ手に國家の公僕としての職務に携はる我々官公吏たるものゝ玉條として心得べき名句である。誠り大衆の心——生活を自からの心——生活とし常にその心臟の搏動に觸れ生活の根底に喰ひ入つてそれに即應する施設指導をなすことに格段の努力が必要である

惟ふに我々が卓上に於て心血を注いだつもりの件案でも實施に當りて何となく徹底を缺き隔靴搔痒の感を抱かしめたり或は笛吹けども踊らずといつた樣な手違が往々にして生ずるのは民心の機微とその生活の實態にしつくりと合致する指導をなし得ぬからではあるまいか、農村振興、自力更生、心田開發等の運動にしても若し未だ肯綮に達せず軌道に乘らぬ點があるのならその主因の一は此の邊にあるのだらうと思はるゝので本年は道郡邑面を通じ公官吏をして民心の機微とその生活狀態の眞底に喰ひ入つた調査研究を遂げしめ以て一段と道治の實績を擧揚したいと思つてゐる

本道の北部を普通すべき中央線の開通、忠北線の延長實現を機とし道勢の劃期的進展を圖るべく大いに力み又樂しみにしてゐる次第だが斯る場合輕燥地方が城代文化の急激なる移入に心醉するの餘り兎もすれば浮華安逸に泥み或は思想の僭倖に走つて產を破り家を亡ぼすの弊風が生じ易いのであるから此の點に就ては今から周到なる注意の下に所謂心の用意と訓練を施し以て健全なる地方の發展を策したい

皇國の多事を深思さるゝ昭和十二年の歲首に際し、滿腔の赤誠を之を盡し得ず唯一意專心奉公の誠を竭し以て　聖恩の萬一に對へ奉らんことを期すべく所思の一端を申述べた次第である

拓け！無盡の寶庫
道民諸君！勇躍して起て



茲に昭和第十二の新春を迎へ百七十萬道民と共に謹みて大內山の雲遙く拜し竹の園生の彌榮えますを壽ぎ奉る

近時世界の情勢は益々錯雜、混沌として、國際聯盟の權威失墜以て軍縮會議を無視せんとする諸國家と、之が否定、打破を以て國運の挽回を企圖せんとする諸國家との際限、軋轢はスペイン動亂を中心として激烈なる禍亂を孕み、恰も世界大戰前の形勢に髣髴たるものがあります、而して東洋に於ては唯一の安定勢力たる我國の儼然たる存在によつて平和を支へつゝありとは謂へ、中華民國、蘇聯邦の動向は何れの日に不測の事態を惹起し來るやも保し難いのであつて、新に迎へた昭和十二年の國際政局こそ益々多事多難なるを想はしめるのであります

道の秋に際り我が國民たるもの擧國一致眞に一大決心を以て難局打開に邁進しなければならないのであります、之が爲には本道に於ても道民擧げて緊張し各々其の業に就き、就中日本精神の顯揚、各種產業經濟の發展に努め、依て以て帝國々運の進展に資するを要するのであります、殊に本道は台灣と匹伸する廣大なる地域を有し、陸に海に無盡の寶庫を有せるを以て、道民各位が新春と共に更に一段の努力を加へらるゝならば、最近新興の氣運澎湃たる我が咸鏡南道は必ずや躍進に加ふるに躍進半島道運の先驅を爲すこと亦難からずと確信する次第であります

茲に榮光に輝く新春を迎ふるに當り、道民各位と共に一層躍進、皇國の實相を深く省察し、世界の大勢と帝國の地位を詳に認識し、更に本道の使命と眞價を正しく自覺し、君國の爲忠誠の丹心を捧げて、資源の開發と民力の充實に當り以て國運の進展、天壤の恢弘に貢獻するの覺悟を新にせんことを切望して歇まざる次第であります

咸鏡南道知事　笹川恭三郎

新年雜感
小坂　韓準錫

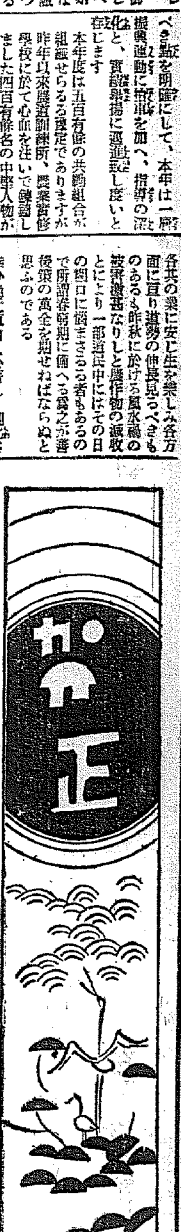
賤簡物色兩佳辰　柔話雖成白髮新
但願年豐無疾病　萬民共樂泰平春

元　朝　志　感

又見新春不見親　自然此日涙添紳
凡庭予莫知何爸　却備平生不孝身

新　年　祝

新年祝新年祝、但願吾皇萬壽長
蕩々威功加海內、扶桑瑞旭倍生光
新年祝新年祝、但願國家彌太平
革習合生歡帝力、陸屋草木始回榮
新年祝新年祝、但願吾民各業勤
半島文明從可驗、更生氣分四隣殷



京城湯屋業組合

京城府漢江通十一番地
日滿土木會社
電話龍山一四七番

京城府竹添町二ノ四五
錢高組出張所
電話光化門一四一八番

京城府南大門通二ノ一〇六番地
日本紙業株式會社
京城支店

京城府古市町十四番地
共立無盡株式會社

京城府明治町
杉山商會

京城府南大門通三ノ九五
高瀨合名會社
京城支店

京城稅務監督局
食堂員一同

殖産銀行第一購買指定
たかの呉服京染店
京城府新町四
電本五〇四五

京城府漢江通三番地ノ二〇
東邦鑛業株式會社
電話龍山一二二番

京城府岡崎町七番地
合資會社 關東組
電話龍山一一四四番
振替口座京城七三七五番

京城府竹添町二丁目六九
株式會社 柴田組
電話光化門一六八〇番
振替口座京城二五〇〇番

近藤ラヂオ商會
近藤彌太郎
京城府本町三丁目二七
電話(2)四九二六番

社團法人
京城土木建築業協會

京城府義州通二丁目
京城水產株式會社

京城長谷川町一〇〇
門田製版所
門田秀文
電本五四三〇番

京城府南大門通五丁目二五番地
朝鮮繩叺協會
電話本局二四六三番

京城府岡崎町六九
東洋塗料株式會社
電龍八三二番

京城府本町二丁目三十九番地
海苔專門卸商
岡村松京城支店
電本長一六五五番

京城府南大門通一丁目一二五番地
京城建物株式會社
電話本局四〇六〇番

京城美粧院
京城府明治町二丁目七四（電本二六五二）
京城美粧院支部
京城府本町一丁目五一（電本二一二七四）

京城府南大門通三丁目一〇六
京織產業株式會社
電本長九七四番・二三〇四番

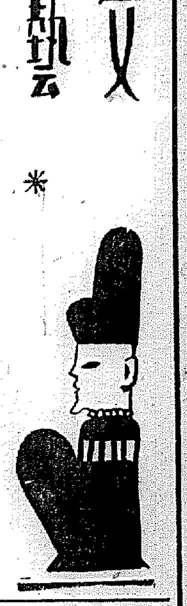
旭金庫工業株式會社
京城支店
京城府南大門通四丁目
電話本局三二二七番

京城府若草町一〇六
合資會社 西本組京城支店
電本二一九五六番

文藝

戯曲時代への翹望
―現代劇を樹立するもの―

伊馬鵜平



戯曲時代來の聲もずゐぶん久しいものであつた。しかし本年こそは、それが空虚な掛け聲のみでなく、實質的な結實を見せようとしてゐる。さういふ氣配が、非常に色濃くなつてゐるのである。

一九三六年に於いて、その萌芽と見らるべき現象が數々あつたが私はこゝに次の三つを數へ上げようと思ふ。

一、商業劇場の新作上演
二、戯曲文學の再認識
三、『新派劇』派の擡頭

もとよりこれはたゞ便宜上、三つに分けたに過ぎないのであつて細かく擧げようとすればその萌芽は限りなく、それが故に、又この三つは互ひに相關聯してゐるのである。

商業劇場が新作――といふ意味は在來のマンネリズムを打破し得べき新人の作品――をとりあげたうちで最初に目を惹いたのは新派にかける眞船豊の登場であらう。しかし最も積極的な意義を以つて新人を求めたのは、新派から獨立した井上正夫一座の所謂中間演劇である。この欲求に應じて現れたのは、久板榮二郎の『斷層』であり、三好十郎の『彦六大いに笑ふ』であり、また八木隆一郎の『熊の唄』等である。

これらはそれぞれ大劇場の舞臺に於いて、新派ほど高踏的ではなくまた新派ほど妥協的ではない。つまりその中間の線を狙つた劇として一先づ成功を納め、井上一座の目安も、これではほゞついたかに見える。そして新人の新作上演慣例が始めて認められ、この方面への拍車は益々かけられて來た。

これと相呼應して新人を物色してゐるものに左團次一座がある。左團次は最近『自由劇場』の再建を目ざして劇界にセンセーショナルな話題を投げかけたが、夙くより各演劇雜誌に推薦を求めて、新人四氏の作を得、現に十二月興行にはその一人、今村紳一郎の『月が俄』を上演してゐる。これも引き續き第二回の募選を行ふさうであるから、新人の活躍舞臺は益々擴大されたわけである。

一方、新劇に於ては最近『新協劇團』『新築地』等の活躍めざましく、『ファウスト』『どん底』『守錢奴』等の公演は、新劇としては未曾有の觀客の大動員を行ひ得た。その事實は新劇が非常に大衆を意識しての舞臺活動を目ざすやうになつたからでもあらうけれども、有名すぎるほど有名な古典戯曲の上演といふことがその成功の因を爲してゐることは疑ひのないところであらう。

即ち、戯曲文學を再認識しようといふ風潮に合致したわけであり、この風潮はまた文壇に於ける最近の現象でもあつたのである。

小山祐士の『瀬戸内海の子供ら』が、芥川賞の有力な候補に擧げられるに及んで、文學の分野にて忘れられたかの觀あつた視線が再び戯曲に向つて集中せられた。尠くとも戯曲は小説より面白しと言ひ、讀いて、文學としての戯曲上演臺本としての戯曲等が論ぜられるに至つたのである。

古典戯曲の上演は、故に一面これら論議の謬を癒やすものとなつたわけであり、從つて戯曲に對するそのドラマツルギイは今度は作の一モメントを與へる結果となつた。各學藝雜誌、文藝雜誌の創作欄に、漸く戯曲掲載の度數が増加するに至つたのはかゝる觀點からして戯曲に對する認識が新たにされたものと言はねばならぬ。

『新派劇』と言ふのは、雜誌『新派劇』に據る最も新しい演劇運動の一群である。彼等は殆どその大部分が、所謂レヴュウ劇場と呼ばれた大衆娯樂の小劇場の座付作者であり、單なるスペクタクルに過ぎなかつたコメデイ・フアースを、一つの純粹演劇形式にまで高めんとする努力を續けて來た。そして今や『新派劇』としてこの國の演劇に一つの新しいジャンルを確立するに至つたのである。

故にこの派の作品の特徴は、百パーセント舞臺的である點にある。つまり觀客をこれほど意識してゐるものはなく、觀客と共に向上して來た演劇であれば、これは當然のことであらうが、實に觀客の動向を熟知し、その求むる魅力に滿足を與ふべきドラマツルギイ(新しき形態)を發見してゐるのである。

新作座の打開に迫られてゐる新派が、劍木劇、劍作協劇場等の新劇派作家の作品に眼をつけ出したといふも、實にこの點をこそ教へるからであつて、西川藤吉一派が丸の内で當りを取つてゐるといふのも、新劇派作家の陣中から生誕した劇壇なのだからであり、藤田一夫、菊田一夫等劇作家を擁してゐるが爲である。

その他、島村龍三、齋藤豊吉、小崎政房、等々、『新派劇』の一派は、小山祐士、川口一郎、田中千禾夫等の『劇作』一派と共に最も戯曲活動の旺盛な一團である。が、實際の舞臺に於いて次々に新作を試してゐるだけ、實にヴアラエテイは豐富である。

『新派劇』これは疑ひもなく一九三七年の演劇界のホープであらう。商業劇場に於てはその大衆性の故にレパートリイの最上位に加へられ、『新派劇』が生命とする社會諷刺は、新劇に於いて一つの劇的モメントとして意識するであらうと考へられる。

ともあれ、これらの素因によつて招來されたところの戯曲時代には、おのづから一つの目標に向つての研鑽が爲されなければならぬ筈である。それは何か。新劇も商業演劇もこれまで一として眞實に創り出し得なかつたところの『現代劇』の樹立といふことである。『現代劇』の樹立には、しかし、これまでの『新派劇』の確立を圖る努力が一番近いのである。

バックミラー

ある日、横光利一の階下に通された文學青年いろいろとこのごろのインチキ宗教教祖のことなど話しあつた末、『先生、先生も用心しないといけませんね』といへば、横光氏きよとんとして、『何だい、俺は宗教を信じてないから安全だ』『先生』とだんだん聲はりあげて文學青年の曰く、『先生はかねがね文學青年から文學の神様と稱ばれてゐますから、先生はやはり純文學的存在ではありませんか』といへば、横光氏、ニンマリ笑つて『君、僕も最近大衆小説の方へ轉向したからその點安全だ』

隨筆　乳牛の話（上）

谷郁一佐

猶太の祭祀にはアブラハムがエホバの訪問を受けた時、牛乳やバタやチーズを月の神に供へたと記されてある。釋迦も苦行中、牛乳を日常飲用したものである。四千年前エヂプトでは、女王籠師の下に年一回各地から徴集した乳牛の分列式を行つたと云ふことであるが、その頃造營された女王廟堂の壁畫には、侍女が一椀の牛乳を捧げてゐるところが描かれてある。ギリシヤの最古の祠堂には仔牛が母乳を飲んでゐる圖がついてゐる。これ等は何れも牛乳が貴重な日常飲料であつたことを示してゐるわけである。

我國でも佛教傳來と共に牛乳飲用の風が傳はつたもので、太子傳には赤い牝牛の乳は重要な藥だと記されてゐる。孝徳帝の御代には牛乳を獻ずるものには和藥使主の姓を賜はり和銅六年には山背國で牛乳を飼ふ者を五十戸に限定する制を設けて、その業を保護されたのであるが、然し牛乳飲用の風は我國にては廣く行はれずに中絶してしまつたのである。

印度では宗教上から牝牛を非常に大切にする。それは牛が自分の仔を育てるために分泌する乳を、人間の日常の糧として提供してくれる有難さに對する感謝の念が、宗教的に勵行されてゐるのであらう。今日でも國法によつて乳牛の屠殺を禁じ、搾乳に供した牝牛には恩給令が布かれ、老後安逸に餘生を送ることが出來るやうにしてある。

歐米諸國でも乳牛は、食用牛や役牛とは全然區別して取扱はれてゐる。然し今日の西洋諸國の取扱は宗教的ではなく全然經濟的觀念から發達したものである。

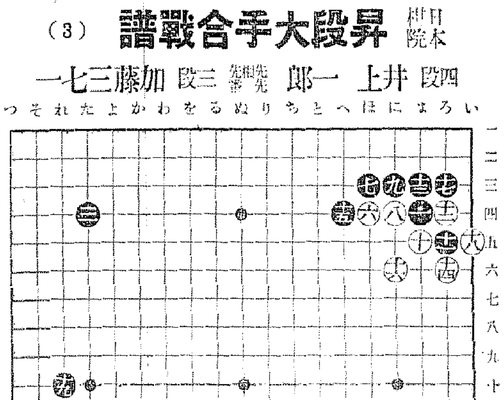
世界各國の牛數なるものを調べて見ると、印度の一億八千六百萬頭が文字通り牛耳を執つてゐる。それも殆ど全部が土着種ながら乳牛であるから、如何なる未開の密林の部落に立つても、先づ牛乳一杯の接待は普通で、我國の番茶に相當してゐる。これに次ぐものは米國の六千五百萬頭で、乳牛は實にその半數を超えてゐる。ロシアは四千五百萬頭、アルゼンチナは四千萬頭、ブラジルは三千五百萬頭、ドイツ並びにフランスは千五百萬頭であるが、その大多數は肉用種である。英國の一千萬頭、デンマークの三百萬頭、オランダの二百萬頭、スキスの百五十萬頭は何れも乳用牛が大多數を占めてゐる。

我國では僅か百五十萬頭の飯牛を飼育してゐるが、乳用種はその五分にも足らぬ七萬頭で一頭年平均十二石を搾乳し得るものと見て八十五萬石、この半分はバタ、錬乳、粉乳などの製造に用ひ、殘餘は菓子や料理に充てゝゐるので、牛乳としては一人年五合にも達しない。これは米國の二石に比し、百分の一にしか當らないのみか、その乳質からでも非常に劣つてゐる。バタは我國の百五十萬ポンドに對する米國の二十五億ポンド、チーズの二萬ポンドに對する六億ポンドと、そこに大なる差がある。印度は牛の數に於ては他國を凌いでゐるが有史以來何等の改良を施さないので能率は上らない。されば今日では理想的乳牛を産する國は米國を唯一とする。

昇段大手合戰譜　(3)

日本棋院

四段　井上一郎
先相先　三段　加藤三七一



對局者の言葉

(黑) 白二八と、ぽいに來られたので、二九と打込む氣になりましたが、單に『ぬ十九』とトンでゆつくり打つ方が、却て白は後續手段に窮したでせう

(黑) 三二のツケが大變でした。三二の三々を侵し、參考圖の白六に次いで本譜『り十七』又は『ち十六』と備へて居るべきでした。譜の四一までとなつて、實利は小さくないのですが、後手を引いてゐるのが辛いのです

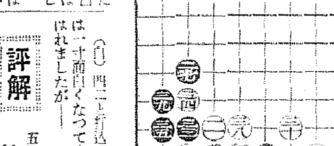
評解

五段　村嶋誼紀

(白) 四二と打込む事になつては一寸面白くなつて來たように思はれましたが――

●黑二九の打込みは當然であらう。●黑三一では對局者のことばの如く白三二の三々を侵し、參考圖の通り進め、先手を取つて『へ十四』にトブべきである。白四二と打込む手順になつては左下隅にかて失つた實利を挽回し得べき機會に惠まれたものと見られる。棋勢は漸く混迷に陷らんとしてゐる。

(參考圖)



明日の話題を作る
流行歌手　渡邊はま子　(3)

『忘れちやいやよ』のレコードで十一年度流行歌界のヒットを出した彼女は一子、一時は内務省のお役人のこはい目ではないお耳にひつかゝり、あの『ネー』といふ間投詞の調にもまねの出來ないアクセントが、いかにもエロだと、今後歌ふことまかりならぬといふきついお達しを受け、クサつてゐた。但し、他のものは歌つてもよろしいので、はま子が歌ふ場合のみ、男心を刺戟するから不可ないのであるといふ、レコード界初まつて以來の珍事であつた。

ビクターでこれを歌はせられた時はもつと甘く、もつと甘くと注文され、藝術家的良心とのヂレンマに陷り、泣きの涙でこの傑作を作り出したといふはま子女史も、いざ出來上つて、レコードが羽が生えて飛ぶやうに賣れてゐる最中にこんなお達しを受けたのであるから

『忘れちやいやよの歌詞は、決してエロではありません、純情な乙女の眞心をうたつた言葉健全なものでありますぞ』

と、大いにとんがつて見たが結局、『ネエー』をぬきにした歯のはま子ファンにとつては氣の拔けたビールに等しい改訂版を出して、更にはまた、『とんがらがつちや厭よ』を出し、もうとんがらがらないことにきめたのである。

彼女は昭和九年にビクター專屬となつて以來、『直八子供衆』『兵士の妻』を振出しに、『鐵の舖道』『ハイキングの歌』『僕の青春』等々を吹込み、『忘れちやいやよ』が三十四回目の作品だといふから、流行歌界では相當に古株の方だが、しかし、油の乘つて來たのは最近のことだし、新人歩き流行歌手に、今年度に一層の活躍を期待されるる第一人者であらう。

あのあまいあらゆる男性の夜毎の夢を搖り動かさずには置かぬといふやうな聲のお蔭で、はま子ファンは男が大半を占めてゐる。然し

に、彼女の歌が兵隊さん達に愛されることは非常なもので、信村弘士には慰問状が山積するといふ。

はま子さんは、武藏野音樂學校の卒業で、師範學校の先生をしてゐた。お父さんも師範學校の先生だといふ、さういふ環境の人だけに、現在の流行歌手といふ仕事に相當悩みを持つてゐるらしい。

自分の個性が、スポイルされるのをおそれるのみならず

『あんな甘つたるい歌をうたふ女は、どんな蓮葉な女だらうと想像されてゐるかと思ふと悲觀しますわ』と、言へるあたりに、もとの『先生』が、チラチラ顔を出す。

『あのひとは、實際、流行歌手といふよりは先生と呼ぶはうがふさはしい。おとなしい人ですよ。日常生活を見たつて、決して、藝術家ぶつたものでありません。御兩親の膝元で暇なときは、自分で流行歌でもなんでもやつてゐる』と力説する奥田和正氏はユナイテッド映畫社宣傳部長で、彼女のマネヂヤア、過日、彼女と結婚の噂を傳へられた人だ。

『結婚はいつです?』

『みんなデマですよ。結局、歌手と家庭生活は兩立しないでせう』

『では、もし彼女が引退した曉には?』

『さあ、その時はその時のことですよ。ハツハツハツ……』

最後の笑こそ意味しんである。

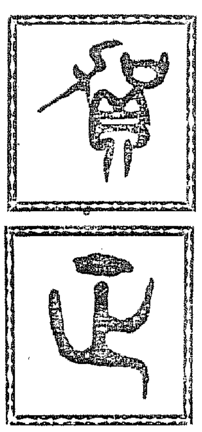
例のビクターのストライキ問題も、未解決のまま持ち越しの形である。彼女の今年の抱負は、自分のスタヂオをつくつて積極的に勉强することと、マイクロフォン藝術の科學的研究だといふ。大いに新境地を開拓されんことを、忘れちやいやですよ(完)

新興キネマ封場
浪花館
館主　園田實生
京城府明治町
電話本局二一六〇番

京城精肉商組合

朝鮮映畫配給組合

京城府南大門通り五ノ一九
發動機製造株式會社
京城出張所
中山覺次郎



京城府本町二丁目
精乳舍
電話本局三三一番

京城南大門通二丁目
堀井膽寫堂出張所
電話本局(長四〇二番 四八五四番)

朝鮮神宮表參道
山道內科
電本二一三一三

京城府長谷川町百拾貳番地
京城不動產株式會社

京城府漢江通拾五番地ノ壹
朝鮮製氷株式會社

金基德
事務所　京城府南大門通日生ビル
電話本局三三六三
自宅　京城府竹添町三ノ三
電話光化門二三五五

京城府北米倉町九拾參番地
鮮滿拓殖株式會社
總裁　二宮治重
理事　渡邊豐日子
同　堤永市
同　木村通
同　岡田猛馬
監事　渡邊得司郎
同　高元勳

京城金物商組合

京畿道廳
食堂員一同

京城羅紗商組合

朝鮮金融組合聯合會
理事　河野節夫
理事　本田秀夫
理事　山根讓
理事　齋藤清治

金剛山電氣株式會社

京城府竹添町一ノ七五
朝鮮金融組合聯合會

京城府岡崎町九二番地
合資會社　龍山精米所
電龍一五〇九番

丁丑新年紙上名刺交換會

順序不同

熊本利平　大田

正木忠一

伊森明治　朝鮮貯蓄銀行

森菊五郎

柳樂達見　京城藥學專門學校

小城文八　京城遞信分掌局長

田川常治郎

齋藤久太郎

本田弘一　株式會社三和銀行京城支店

根木久作　京城南大門前

加藤[illegible]　[illegible]

[illegible]

松本誠　朝鮮製錬株式會社

薛卿東　東海水產工業株式會社

伊藤林藏　會寧

柴田鈴三　平壤

李基燦　平壤

朴榮喆　朝鮮商業銀行

及川邦治　平壤

渡邊儀一

佐治八郎　安田銀行京城支店

宮林泰司

淺野太三郎　京城

高木德彌　京城

花岡鶴松　群山

白石甚吉　朝鮮貯蓄銀行

三輪邦太郎　京城・三越

[illegible]　群山[illegible]

中村郁一　京城

南朝鮮電氣株式會社 常務取締役　小瀨守次郎　群山商工會議所議員

神林松吉　群山無盡金融株式會社

寶諸彌七　京城太平通二丁目

[illegible]

安本常一　京城黃金町一郵便所

橋詰庄太郎　京城本町二丁目

米倉元一　京城府[illegible]町三

山本薰　京城明治町二丁目

高橋伊平　朝日海上火災京城支部

山本義一郎　全羅南道廳

德永勳　京城府西小門町

大久保眞敏

松本正寬

渡邊退助　第一生命朝鮮支部

河野又一　京城公平町六三

新田留次郎　朝鮮鐵道株式會社

吉村[illegible]

野路一雄　日本勸業證券株式會社京城支店

內田鯤五郎　京城

笹間博　千代田生命京城支部

加納一米　京城

堀正一　朝鮮商業銀行

金能秀　平壤

方義錫

內山寬正　京城

山崎陳平　[illegible]

[illegible]

尹日重

大熊宗平　京城府南大門通二

[illegible]　[illegible]社長

里吉基樹　朝鮮公論社

長壽の秘訣
棚橋女史・金子伯・關根名人にきく

不老長生は誰しも願ふ所だ、若返りのホルモン劑が素晴しい賣行を見せてゐるのも無理はない。どうして長壽を保てるか？目出度い新年の初頭に當つて、棚橋絢子女史、金子堅太郎伯、關根金次郎名人の三長壽者の、長生きの方法を調べる。

理想的なお献立

棚橋絢子女史

あと一年で百歳と云ふ記録的な長壽だ、有名な人としては一番の年長者、何せ天保十年に生れたのだから一世紀この世に働いた譯だこの媼の刀自は極めて健康、眼もよく見えるし、血色もいゝ、年を寄せぬ娘と耳とだけは止むを得ないが

芝の東京高女 には大體毎日通つて口をモグモグしながらも修身を敎へるのだから仲々元氣だ。その健康法は菜食主義、腹八分つめ込みが食事に對する鐵則食ひはよくない、なるべく食べない方が健康で、回數も一日に二回三回は原則だが、これは食べすぎる位で、餘程烈しい勞働をしない限りは二回がいゝ。これは女史が年を老つて食事するのが面倒になつたゝめに一回減らしたのでもなく、經濟的理由でもない。昔の武士、殊に北條氏康の如きは著名な二食勵行者で、子供の氏政が三度飯を食ふのを聞いて、『三度飯を食ふとは怪しからん、家を潰す奴だ』と、妙な豫言をしたが、これが的中して北條は滅亡した。これは要するに贅澤を戒めたもので、無理に三度食ふ必要がない場合は二度にした方がいゝ。又腹八分目は、猛獸の動物がいつも腹八分しか食はないと云ふ古諺にもあてはまる譯だ。女史は菜食物を中心に、黒豆、昆布、小魚を食膳に缺かさぬと云ふが、これは消化のいゝ又榮養のある理想的メニユーだ食べ物に注意をする一方早起きを勵行する。午前五時には必ず起き出ます、健康な朝日を拜んで、曲つた腰をピンと伸して、眠ぬぎである。

となつて飽い湯を使ひ、髮結で顔を磨くと云ふから仲々お洒落だ。髮は染めてゐるが、齒は一本も拔けない

早起きは長命 の第一條件だ。かうした實質的な方法と併行的に精神も整へなくてはならない。心はいつも平靜にのんびりと保つて心配はしないこと、つまらぬ氣苦勞は絶對にしないやうにして居ればいゝ。あれやこれやと工夫や考案をするのは自分の將來を開拓するのだから、これは心配とはちがふ。いくらやつても健康の障害とはならない。又、絶えず若い元氣溌剌たる青少年と接觸していつも若やいだ氣持を滿らしてゐることが肝要だ。棚橋女史が女學校の先生をこの高齢も厭はず孜々として續けるのは、立派な健康法なのである。

氣苦勞せぬこと

金子堅太郎伯

我が憲法政治の恩人金子伯も八十五歳の新春だ、幼少時代は極めて虛弱で、十二歳のときは學校を斷めて專ら心身鍛錬の健康保全に力を注いだと云はれる者にして、最近は壯者をも立派に凌ぐ剛健ぶりは頼母しい限りだ。何でも四十三歳のとき **今から四十二** 年も前に大腸カタルを患つたきり、病氣をした經驗がないと云ふのだから大した丈夫さだ。その健康法は極めて簡單したものだ。先づ精神的條件としては

一、身體の運動を怠らぬこと、同時に頭腦の運動を行ふこと

二、つまらぬ氣苦勞をクヨクヨせぬこと

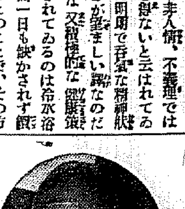
三、葬式にはどんな場合にあつても絶對に參列しないこと

が必要で、殊に葬式へ出かけるのは絶對にいけない。夫や妻や子を喪つて悲嘆たる喪主たちの哀れな姿を見るだけで既に憂鬱になるし、又いつかは自分もかうして醜體の人となるのだなどゝ、妙な厭世觀に囚はれないものでもない。これが殊にいけない。伯が葬式に參加しないのは、未だ青年時代にアメリカに留學中、世話になつた恩師オリヴァ・W・ホームズ博士の忠告と

貝原益軒先生 の『養生訓』とに敎へられて實行してゐるのださうで、如何にも知己、親友などに對しても非人情、不義理ではあるがやむを得ないと云はれてゐる。要するに明朗で呑氣な精神狀態にあることが望ましい譯なのだ更に實質的な又積極的な健康策として勵行されてゐるのは冷水浴で、四十年間一日も缺かされず續けて居られるとのことで、その方法は先づ風呂桶の中に一杯水を滿して置いて朝起きぬけにその水風呂に浸つた冷水で膝をザブザブと洗つてから手桶で頭に充分水をかけて、頭腦を冷す、これで鬱血したやうな頭から血が下る。今度は膝から下へ冷水をかける。かうすると今度は足の血がすつかり冷却するから氣分がいやが上にも爽快になつて來る。續いて手拭なぞを用ひて心臓部へ冷水を打つ哭ける様に浴びせる。これで心臓を鍛へるから老人にあり勝ちな不規則な動悸がするやうなことが全然なくなる。最後に全身に水を浴びること十杯から二十杯、これで荒行にも似た爽快な冷水浴を終へ、乾燥し切つたタオルで全身を赤くなるほどふき、同時に摩擦する **かうすれば後** は身體はポカポカと心持よく温まり頭はすつきり冴える。厳冬によく酷暑にもよいと云ふ健康鍛錬法なのだ。

飯も從つてうまく消化もよくなるこの二つの方法を適當に併用すれば長壽は求めずして得られる譯で自信を以つて誰にも奬められると伯爵も云つて居られるさうだ

太陽と共に起く



關根金次郎名人

將棋全盛期に名人の王座にあつて覇權として活躍を續けてゐる關根氏は七十、古稀の齢を迎へ土居、木村、花田、金子、大崎、金、神田、萩原、木見と居並ぶ八段を相手に敢然と **對局して一歩** も譲らぬエネルギッシュな姿は正に驚異である。名人はどの長壽者もがさうであるやうに、朝起きだ。太陽が東の空へ昇ると眠をすぐ覺ます。夏ならば四時、冬ならば六時と云ふのが名人起床の時間だ。それから小ざつぱりとした着物に着かへて、ステッキお供に自宅附近をハイキングする。約三粁位ぶらついてから歸宅して朝餉の膳に向ふ。お膳には必ず梅干がついてゐる。麥飯をキチンと二杯食べてから、この梅干を **三日に一個の** 割合でつまり一個の三分の一を一日に食べるのだ。餘り食べると精力がつきすぎるさうだ。同時に卵一個を飮む。精根を傾けつくして勝敗を爭ふのだから、何せ體力が物を云ふ。それだのに名人はどんな若いものにでもひけをとらぬのだから大した自信だ。鰻は大好物で、食へるだけ食ふが、八人前をペロリと平げて鼻皿を出して以來有名になつてゐるさうだ。

壯年時代には 晩に一回三升飮んだと云ふ酒豪ではあるが矢張り最近では節酒して晩酌二合宴會でもあつて酒をすゝめられ、美人が侍つてサーヴィスすれば相當にいける。だがこれは例外中の例外、煙草は六十三のときから禁煙した。又長壽は曲つた心持や陰險い行爲さへなければ自然に保てるもので、要するに心の平靜が大切だ。弟子を育てゝ、ずんずん偉くなつてゆくのを樂しみに將棋を指す名人の心境は蓋し仙人のやうな落着きがある譯だ。

關根氏はどちらかと云へば根が頑健な體質で、いくら亂暴な生活をしても病氣をしたことがないとのことだが、七十になつても四、五十位のいゝ血色と働きを見せてゐるのは獨自の健康法、朝起き、散歩、梅干、節食、晩酌、朗らかな心境、かうした要素の連鎖によつて保たれてゐるのだ。近頃はこれに小刀體操なる新しい運動を發明して身體鍛錬をやつてゐる。

不連續線

藝者

暮から春へ、忘年會だの何だのと、宴會へ出る機會が可なり多かつた。

私はいろ〳〵の藝者や妓生と話した。女學校を出たといふのもゐたし、滿洲から來たといふもの、映畫の方へ少し出てゐたがスターになる見込みもないので藝者になつたといふもの、初めて半玉として出たその日に、日露戰爭が始まつたといふ老妓、英語をしやべる妓生など、いろ〳〵あつたが、流行小唄を歌つた何とかいふ妓は、聲がかすれて唄にならなかつた。

『大した聲だね』

と、私がいつたら

『私、これで專屬よ』

と、いつた。

ビクターか、コロムビアか、どこのレコード會社か知らないが、こんな聲の女を專屬にするとは物好きだと思つたら、專屬でなく、喘息だつたといふこともある。

藝者や妓生の名にも、いろ〳〵と變つたのがあつた。李分金が隠れたが、香蘭といふ妓生は、何と讀むのか、わからん名であつた。

小〇といふ藝者は、小まると呼ぶのださうだが、それは、もと御る名であつた。

新しい世界を！

〝映畫時評〟　内田岐三雄

一九三六年の日本映畫界は、話題のあるものであつた。そして、これは一に二に各映畫作家達（より正確にいへば、各映畫監督中の選ばれた人々の連）の不斷の努力とその人々の成長とによるものである、と見ていゝだらう。

◇……

これらの人々は、外部的には資本家側からの限迫と制肘から自らの仕事を守り、獨立を期するための第一歩を踏みかためて行くことにした。未だ明確な運動として具現化されてはゐないが、各映畫監督達が集つて設立した日本映畫監督協會は、そのためのものである。そして、一方、これらの人々は、より良い作品を生むために專心した。その最も著しい現はれとして、僕は『人生劇場』『祇園の姉妹』『浪華悲歌』『一人息子』等を擧げることが出來る。この四本に關する限りでは、質的内容について、歐米の佳篇に優秀な作品に比して遜色のないものであり、といふことが出來るのである。一九三六年度の日本映畫は、以上の四作品を出したことにかけて、大いに誇つていゝのである。實際の話が、これまで日本映畫に於て『人生劇場』の如き、また『祇園の姉妹』の如き、優れた作品が何本生れたであらうか。それを考へて見るがいゝのである。

◇……

そして、更に躍進せねばならぬのは、以上の四作品を生んだのみならず、一九三六年度にあつては、日本映畫の質は、一般的に見て前年度より向上してゐる、と考へられるといふことである。これは、簡單に考へれば、日本に於けるトーキーも漸く初歩時代を卒業して一段階に達したのだから、今度からはより良い作品を志す時期に入つたのだ、と說明出來ないこともない。だが、實際は、もつと深いところにある。映畫を作るのは熟練ではなくて、結局は作者の頭と人間なのである。技術の習練が出來ると途端に、頭の方も一歩進むといふ樣なことは考へられぬ事實である。日本の映畫作家達も、技術の習練と同時に、その人間的修養もして來たのだ。そして、これが今日漸く實を結びつゝあるのである。そして、その内の一人が一つの力作を生む時にこれが他の同僚への刺戟となり、他の人々がまた力作を生むための指導の役をしてゐるのである。

◇……

けれども——と僕は此處でいふ。成る程、日本の映畫は進歩したし、又、成長もした。世界的な傑作こそ未だ生んではゐないが滅多に歐米の映畫にもひけを取らぬ作品が續々作られて來てゐる、けれども、日本の映畫に對しては、僕は大きな不滿を持つてゐる、それは取材の範圍であり、作品の傾向である。極端と極端に走つてゐて中間を失してゐるし又全體的に見れば未だに昔から歩んで來た道をグル〳〵ともう一度廻つてゐるだけで、新しい世界のあるのに氣づかないでゐるのである。

◇……

先づ第一に、日本映畫に缺けてゐるのは、メロドラマである。もつとも、こゝで云ふメロドラマは大衆向きの低俗なものを意味してゐるのではない。もつと嚙りやすく明瞭に云へば、高級メロドラマといふ種類のものである。フランスのグラン・ブールヴァール演劇や、アメリカのブロードウェイ等の華々しい演劇を指していふのである。これらのものにあつては、芝居的な面白さと、人生なり社會なりへの觀察とが、巧みに一つにぬひまぜられてゐる。見て面白く、しかもその面白さが單なる作り話だけではなく、上滑りをしてゐないのである。理窟と議論とだけでこねあげられてゐずに、しかも、そこには人間と世の中を描き出してゐるし、陰鬱に深刻にはまり込まずに、しかも、我々の頭なり胸なりにかよふものを持つてゐる、といふのが此處で僕のいふ高級メロドラマである。

◇……

日本の映畫には、かうした型なり傾向なりのものが無い（映畫ばかりでなく演劇にも無いのだが）。興味本位に走れば、愚にもつかぬナンセンス物になつたり芝居がかれば新派悲劇に墮したり、趣味にとらはれゝば、下町の古くさい回顧情緒に纏綿するし、そして人生を描かうとすれば、忽ち澁面つくつて吐息ばかり吐くのである。但し、この最後のものを僕は前三者と同じく愚劣なものとして指彈するのではない、けれども、人生を描けば、必ず暗澹たるものばかりであるのは僕として賛意を表し難いのである。成る程、現在の我が國の狀勢は、心を暗くするものがあるには違ひないだが、我々は そこに吐息する ばかりでなく、それを如何に明るい方へと切り開いて行くか、といふことへ何故目を向けないのであらうか。確かに、何らかの道がある筈である。そして、今でも既に何らかの萌芽が發生して來てゐるのではないか。但し、高級メロドラマによることが、直ちにこれを解決するといふのではないが、僕がここにメロドラマの提唱をした主旨は、もつと明るくそして進步的な内容を持つた、大衆にもインテリにも好んで見られる映畫が、日本にも生れて來て貰ひたい、といふことである

◇……

そして又、日本映畫の缺陷としては、映畫作家の視野の狹隘といふことが擧げられる。これは結局は、日本の映畫人の敎養の問題となるのであるが、日本の映畫に於て、最も扱はれぬのは新しい近代的で文化的な日本の姿といふことである。古めかしい下町物の映畫を作るのなら我が國の監督には人が多くゐる。また、郊外などに小ぢんまりと巢を構へてゐる小市民の映畫を作る監督も少しとしない。おでん屋や待合や料理屋やカフエーなどなら、彼等は巧に描くことが出來るのである。だが、それらのものに眞の近代の日本はないのである。もつと廣く、大きく、明るく我が國の映畫作家達は足を踏み出し、眼を開く可きなのである。そこへ精進と、理解と、批評とを向ける可きなのである。我々は本當の日本の映畫を見たいのである。我々が呼吸し、我々が努力してゐるその世の中の生き生きした姿を日本の映畫に見たいのである。

條平內（くめのへいない）　(38)

小金井　演　福田　畫

田舍武士の面目（一）

『どうか平内殿、武士の助け合ふのは相見互ひ、浪々の御身の上では定めしお御不自由もございらうから、お構ひなくば當分この道場へ御逗留なさつては如何でござる。若し御仕官の望みもあらば、折を見て拙者主人本多大内記侯へ御推擧申上げても宜しいが……』

『いや重ね〳〵の御厚情、誠に辱うござる。斯くなる上は何をか包み申さう。某、こそは石州津和野の藩主龜井能登守殿の家臣、主君の手前もございれば、他家に仕官致すは遠慮いたさなければなりませぬ。然し武術の修業に就いては何分のお世話を願ひたうござる』

平内は阪田勝十郎の人物を知つて了ふと、もう隠張りしたもの、スパスパ今までのことを話してしまつた。

阪田勝十郎益々感服して、

『誠に天晴れなるお心祭え、その上に萬夫不當のお腕前、實に鬼に金棒といふのは貴殿のことか、それを譬へば某などは、師匠の手許を離れ唯その儘君に仕へて祿を食み、諸國修業などといふことを念頭にも浮べませぬは、恥ぢ入つたる次第でござる。就ては貴殿に指南の出來る武藝者といへば、天下にまづ、二人の外はござるまい。』

『これはしたり、左樣にお褒めに預つては赤面の至りでござるが、してその二人と仰せられるは…』

『さアまづお聞きあれ。凡そ武藝には、達者、上手、名人と此三階級がござつて、少し器用な者はすぐ達者となる。達者といふことは別に難かしいこともござらんが、上手となれば非常苦心の功を積まなければならぬ。然しその上手といはれるまでは修業さへすれば大抵な者にはなれ申すが、まゝ……自分でから申すと鳴滸ケ間しけれど、斯く云ふ拙者も上手の仲間入りは致したつもりでござる。然るに一段その上の名人になるとこれはまた凡夫ではとてもなれない。その人の德と云はうか、いや天賦とでも申さうか、蜀の諸葛孔明、我朝の楠正成その外越の謙信、甲陽の信玄は何れも軍學兵法の名人、三十年五十年書物に眼を曝したからとて、決してこれが出來得べき譯のものではござらん。先刻貴殿ところ、非凡にしてまづ武藝に於ては名人の域に進むべきお方であらうと存ずる。いやさ、拙者は世辭追從は申したことはござらんが、今日本に於て貴殿に木劍をとつてお敵へ申すに足るお方はたつた二人、その一人は將軍家御指南番柳生但馬守宗矩殿、今一人は御子息飛驒守宗冬殿、このお方の外はあるまいと存ずる。』

『…………』

平内はおだてられてゐるやうな氣がして言葉もなく默つてゐる。

然し、二十二歳の平内の腕前を僅か三四人の弟子と立合はせた丈けで、非凡と見てとつたのは、流石阪田勝十郎である。

勝十郎は言葉をつぎ

『然し困つたことには、柳生家では浪人の弟子は取らぬ定めになつて居ります。なれど、あまりに惜しい貴殿でござれば、某より師にお願ひ申して、師匠のお取計らひを乞ふでござらう。それまで兎も角も當道場へお留り下さい。某よりも段々その事を師に申して居ります。して御暇の折には門弟共へも御敎授に預りたい。』

『いやどうも阪田氏、何から何まで行屆いたそのお心添へ、僅かばかりのことを恩がましく思召して過分なお言葉はたゞ感謝の外はござらぬ。……それではお言葉に甘えて、明日より御厄介にならう』

『お出で下さるか、それや〳〵某も非常に滿足。お荷物は明朝門人を貴殿の旅宿へ遣はして當家に運ばせることにしませう』

『それには及びませぬ。荷物と申しては風呂敷包一つ、いやもう氣樂なものでござる。あはゝゝ』

呵々大笑して、夜も更けてから門人一名に送られて、平内は馬喰町の鈴木屋へ戻つて來た。

謹賀新年

彦陽産業組合　組合長 金□□　理事 金奎煥

蔚山農業倉庫長　呉鴻洙

蔚山邑　九州旅館　電話一〇二番

蔚山郡廳通り　中村寫眞館

彦陽　夏目保夫

南倉金融組合

温陽面長　崔奉植

彦陽　國本久吉

方魚津漁業組合　理事　吉田義男

方魚津公立尋常高等小學校長　岩下久榮

方魚津　公醫　大串鴇

方魚津酒造株式會社　社長　尹德鎬

蔚山兵營　兵營釀造合資會社

靑良面長　李相喈

道會議員　彦陽公醫　安孝式

彦陽面長　朴泳翰

蔚山邑長　桂登利藏

蔚山學校組合會議員一同

方魚津　林兼營業所　所長　濱本音松

下廂面長　呉義相

蔚山郵便局長　小荒井政

蔚山無電局長　山本末吉

朝鮮總督府觀測所蔚山支所　新修三

釜山地方法院蔚山出張所　門丸貞夫

蔚山邑會議員　楠木仙司

蔚山邑會議員　蔚山學校組合會議員　桐山榮知

慶南道會議員　李圭正

蔚山　金敎彬

蔚山消防組

蔚山商事株式會社　電話三二番　振替釜山八九四番

蔚山元町　定金釀造場　電話一二番　振替釜山三七四三番

和洋御料理　會席仕出し　初音　電話四三番

米穀肥料商　西藤精米所

蔚山本町　松重淺太郎本店

蔚山本町　西谷藥房　電話六九番

銃砲火藥商　安成商店　電話五三番

蔚山　鶴一食堂

蔚山　金佐性

蔚山警察署長　篠原親義

日本航空輸送株式會社蔚山出張所　主任　小田荒太郎

蔚山學校組合管理者　中谷德一

蔚山水利組合　理事　上原米吉

蔚山邑學校長會　池田正義　山田實次　關屋實善

蔚山稅務署

蔚山酒造組合

大興電氣會社蔚山營業所　支配人　岸本到

蔚山自動車組合

蔚山釀造合資會社　代表者　車溶珪

蔚山醫友會

鐵道局指定　富士屋旅館　電話三三番

慶南方魚津　方魚津漁網船具商　代表者　大林金治郎

蔚山邑　平和印刷所　代表者　朴三祚　電話六二番

蔚山金曜會
朝鮮商業銀行蔚山支店
蔚山金融組合
釜山無盡蔚山出張所
左兵營金融組合

蔚山郡廳

朝鐵咸北線茂山驛江岸線構内
營業種目　各種製材　鐵道枕木　坑木原木　一切
裵貞基製材所　電話十三番

茂山驛江岸線構内
落葉松　鐵道枕木　建築用材　一切
茂山製材所　電話廿七番　電略（モセ）

北鮮製紙化學工業株式會社
三長出張所一同

朝鮮開拓製糖株式會社
本社　京城岡崎町七ノ二
出張所　東京、大阪、三長
事業地　咸北道茂山郡

釜山石炭商組合（イロハ順）
合資會社　大野商店
梅根商店
山中石炭部
丸二商會
越田商店
朝日商會
株式會社　佐治商會
株式會社　三國商會

三菱茂山鑛山　内田廉治

茂山營林署　電話八番

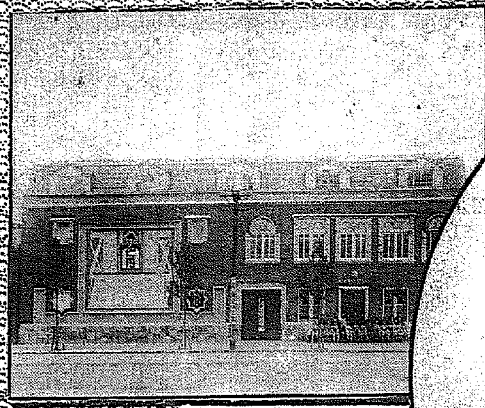
株式會社　鹿島組　富寧茂山出張所

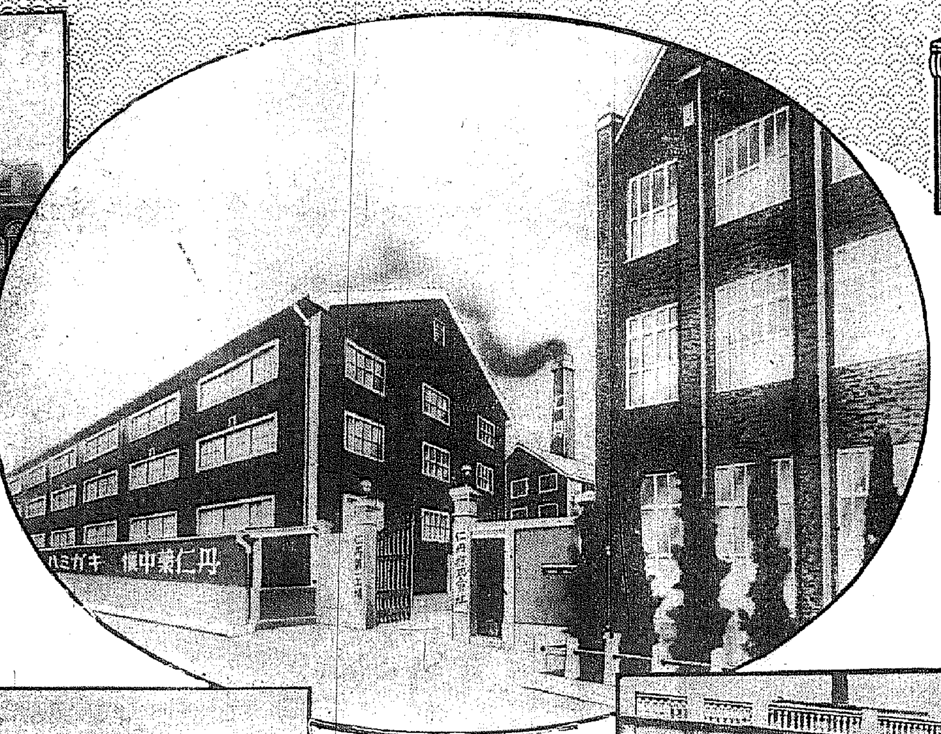
昭和の常識

賀正の文字は、日本書紀、孝徳帝の條に「賀正の禮畢る、即ち改新の詔を宣り給ふ」とあるのが起原

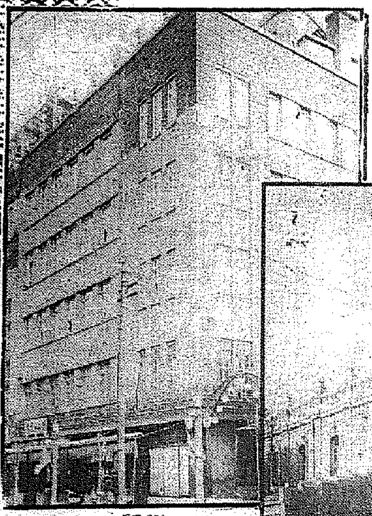
腰掛けて仕事をするに良い姿勢は腰を引き、腹を前に出し、肩をダラリと下げ餘り物に寄り懸らぬ事

偏食を止めさして下さい。色や形の配合、味を工風して作れば、子供の嫌ひは、直き好きになります

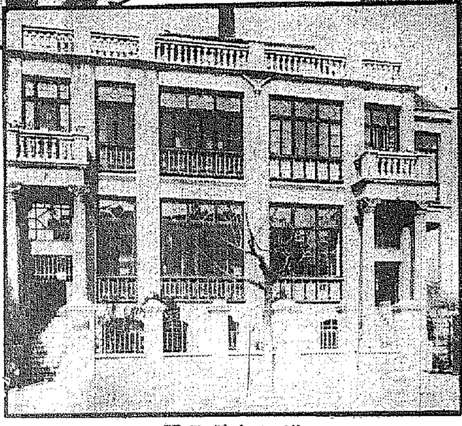

東京擴張部


本社・第一工場

上海出張所


大連出張所

天津仁丹公司


漢口仁丹公司

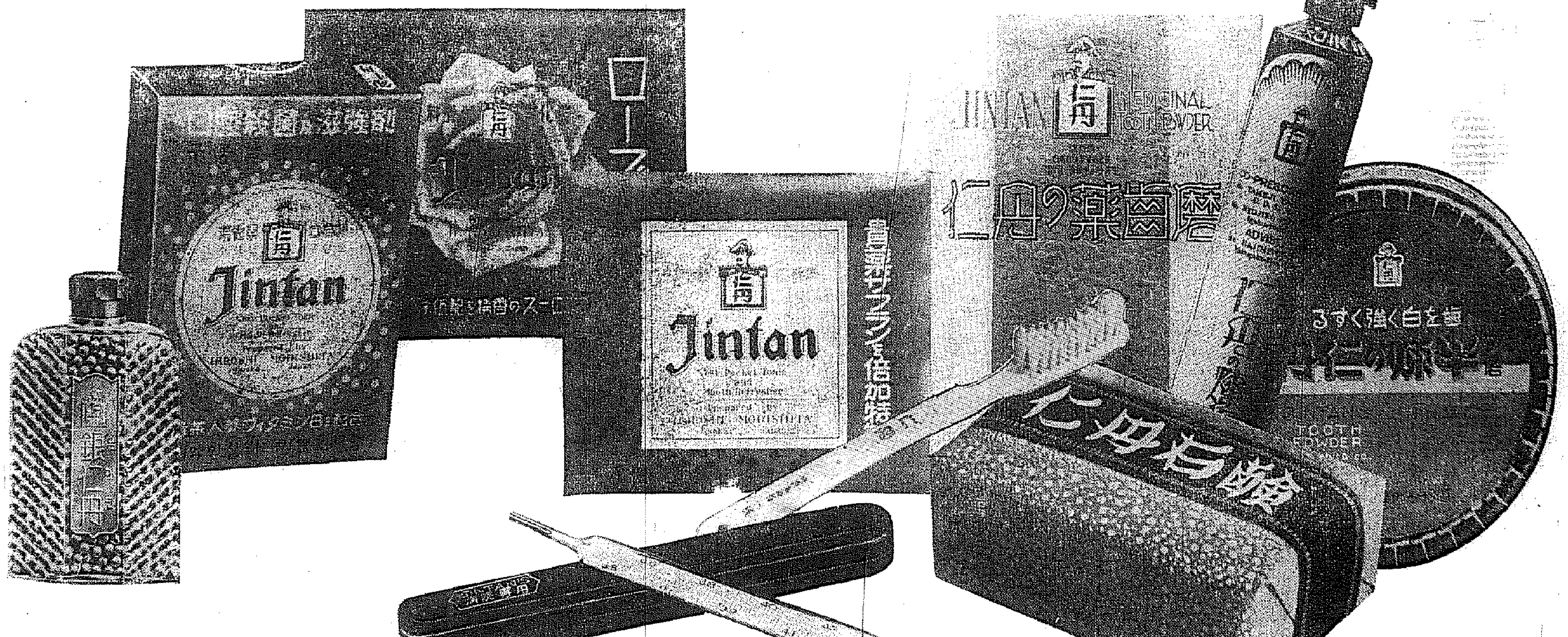
本年も

一家揃つて健康と明朗の爲め

仁丹製品の御愛用を

仁丹製品

懷中藥仁丹　解毒劑毒滅
仁丹の歯磨　仁丹體温計
仁丹石鹸　仁丹歯刷子
仁丹藥用靈泉　仁丹化粧麗泉

仁丹本舗 **森下博大藥房** 大阪市東區玉堀町

東京擴張部　東京市淺草區鳥越町
名古屋擴張部　名古屋市西區西萬町
朝鮮宣傳部　京城府岡崎町
天津仁丹公司　中國天津日租界旭街
漢口仁丹公司　同漢口日租界中街
上海出張所　同上海共同租界河南路
大連出張所　關東州大連市浪速町
奉天出張所　滿洲國奉天加茂町
哈爾濱出張所　同哈爾濱八站南馬路
仁丹第一工場　大阪市東區玉堀町
仁丹第二工場　京都府相樂郡瓶原